

かわさき

市内の

# 一押し

イチオシ

川崎市内 地区社会福祉協議会

概要集



## はじめに

社会福祉協議会（社協）は、社会福祉法第 109 条において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と規定されており、住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を使命としています。地域における自主的な福祉活動の中核となり、住民の福祉活動を推進し、保健福祉上の諸問題を計画的・協働的努力によって解決しようとする公共性・公益性の高い民間非営利団体です。

社協は行政区域を単位として全国・都道府県・市区町村に設置されています。

川崎市社会福祉協議会は、市内 7 つの行政区ごとに区社会福祉協議会を組織して、区域の地域福祉事業や住民による福祉活動の推進を展開しつつ、住民主体の活動を実施する 40 の地区社会福祉協議会の支援を行っています。

地区社協の歴史は、昭和 29 年度に大師地区で形づくられた後、昭和 33 年度に市内 18 地区で設立され、区社協よりも長い歴史があります。

活動内容は、時代のニーズに合わせて変遷を繰り返してきました。地区社協の会員構成は、町内会・自治会、民生委員児童委員、保護司、社会福祉に関する団体等が中心となり、地域の福祉課題の解決に向け、さまざまな活動を通して地域づくりをしています。

本冊子では、40 の地区社協の組織や実施事業などを紹介しており、平成 26 年度以来の発行となります。新たな取り組みとして、イチオシ事業と地区社協からのメッセージを掲載しています。

多くの住民に毎年協力いただいている賛助会費や共同募金を財源として、住民が主体となり地域住民のために行われている地区社協の活動は、まさに川崎市における住民の支え合いの賜物と言えます。特にイチオシ事業を見ていただくと、地区社協の方々が工夫を凝らした事業を実施していることが伝わると思います。

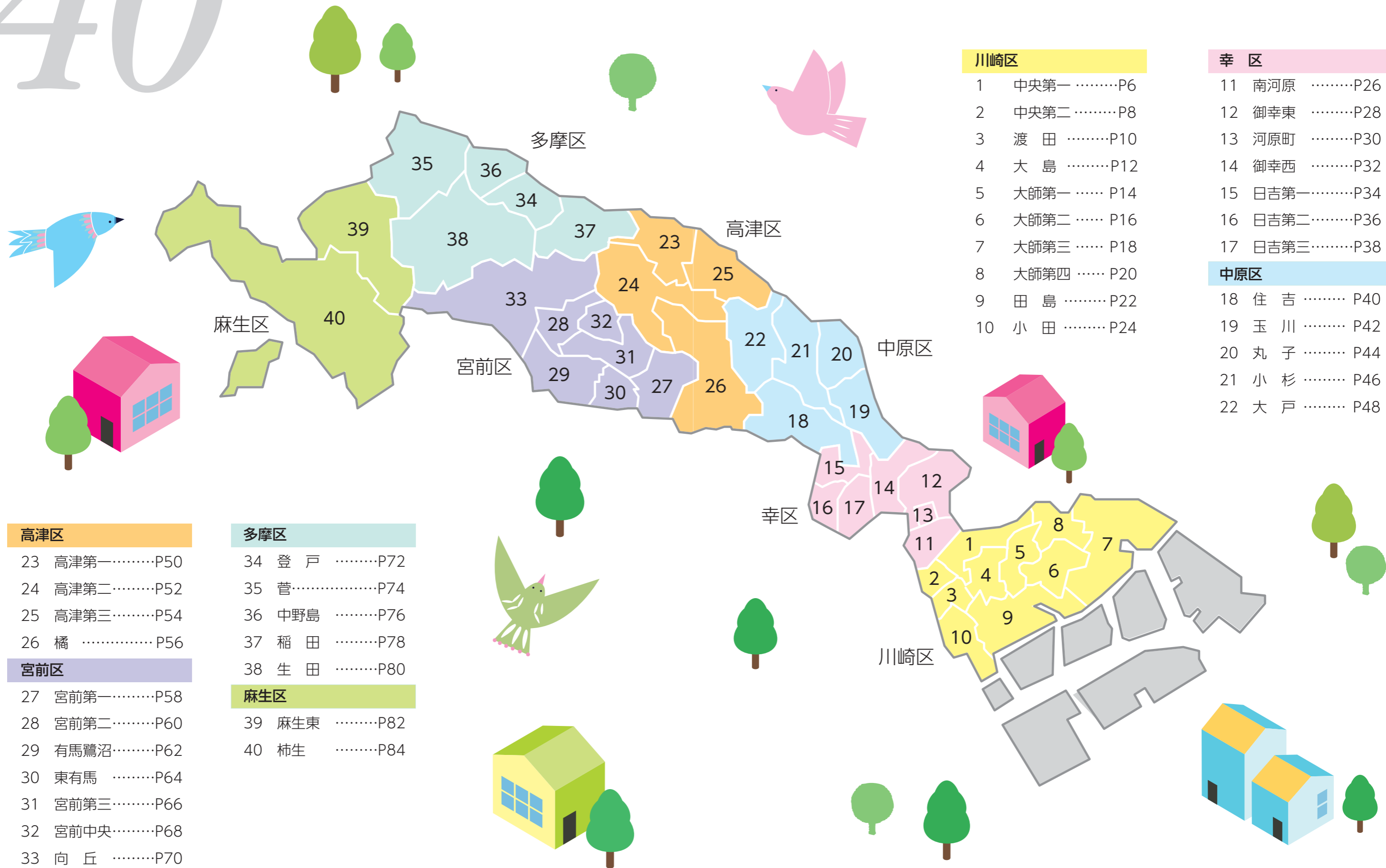
今回、本冊子を再発行するにあたり住民活動の大切さ、行政や福祉サービスでは出来ない住民活動ならではのきめ細やかさや豊かさが伝わりやすくなるように心がけました。

住民の目線に立ち自分たちの住む地域をより良くするために様々な方が協力し、手を結んで行っている様々な活動について、多くの方に知っていただければ幸いです。

# 40

Social Welfare Council

## 川崎市の地区社会福祉協議会



# 地区社協の変遷

川崎市は昭和 47 年に政令指定都市となり、川崎、幸、中原、高津、多摩の 5 区が置かれ、

昭和 57 年に分区により、高津区から宮前区が、多摩区から麻生区が生まれました。

昭和 29 年度	昭和 33 年度	昭和 36 年度	昭和 42 年度	昭和 44 年度	昭和 52 年度	昭和 57 年度	平成元年度
	中央地区社協	中央第一地区社協					
		中央第二地区社協					
大師地区に 形が作られる	大師地区社協	大師地区社協第 1 支部	大師第一地区社協 ※支部制から移行				
		大師地区社協第 2 支部	大師第二地区社協				
		大師地区社協第 3 支部	大師第三地区社協				
		大師地区社協第 4 支部	大師第四地区社協				
田島地区社協	大島地区社協						
	田島地区社協						
小田地区社協	渡田地区社協						
	小田地区社協						
御幸地区社協	南河原地区社協						
	御幸東地区社協		河原町地区社協				
	御幸西地区社協						
日吉地区社協							
住吉地区社協							
玉川地区社協							
丸子地区社協							
小杉地区社協							
大戸地区社協							
高津地区社協	高津第一地区社協						
	高津第二地区社協						
	高津第三地区社協						
橘地区社協							
宮前地区社協	宮前第一地区社協						
	宮前第二地区社協						
	宮前第三地区社協						
向丘地区社協							
稲田地区社協	稲田第一地区社協		稲田第一地区社協		稲田第三地区社協		
	稲田第二地区社協						
生田地区社協		生田地区社協		麻生東地区社協			
柿生地区社協							
18 地区社協		28 地区社協		29 地区社協		30 地区社協	
				33 地区社協		34 地区社協	

平成 8 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	令和 5 年度
						中央第一地区社協
						中央第二地区社協
						大師第一地区社協
						大師第二地区社協
						大師第三地区社協
						大師第四地区社協
						大島地区社協
						田島地区社協
						渡田地区社協
						小田地区社協
						南河原地区社協
						御幸東地区社協
						河原町地区社協
						御幸西地区社協
日吉第一地区社協						日吉第一地区社協
日吉第二地区社協						日吉第二地区社協
日吉第三地区社協						日吉第三地区社協
						住吉地区社協
						玉川地区社協
						丸子地区社協
						小杉地区社協
						大戸地区社協
						高津第一地区社協
						高津第二地区社協
						高津第三地区社協
						橘地区社協
						宮前第一地区社協
						宮前第二地区社協
						有馬・鷺沼地区社協
						東有馬地区社協
						宮前第三地区社協
						宮前中央地区社協
						向丘地区社協
						登戸地区社協※
						稲田地区社協※
						菅地区社協
						中野島地区社協
						生田地区社協
						麻生東地区社協
						柿生地区社協
36 地区社協		37 地区社協		39 地区社協		40 地区社協
						40 地区社協

※名称変更

# 中央第一地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

本町・堀之内町・旭町・富士見 1 丁目・宮本町・東田町・砂子・榎町・駅前本町・新川通・境町・宮前町・港町

## ●地域の特徴

東海道五十三次の宿場町である旧川崎町として栄え、歴史的な地域資源が多く残る地区である。JR と京急川崎駅を中心に官公庁や商業・サービス業などが集中する。人口密度が高く、団塊の世代以上と若い世代が共存する地区である。高齢化率も区内で一番低い。町会が互いに連携をはかっている。



人 口	28,002 人
世 帯 数	17,109 世帯
高齢者人口	4,253 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	15.19%
年少者人口	3,021 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	10.79%

(令和 4 年 3 月現在)

●主な拠点 福祉パルかわさき  
活動場所

●構 成 町内会・民生委員児童委員・保護司

●役員構成 会長・副会長 (2)・常任理事 (16)・会計・監査 (2)・庶務 (2)  
専門部部長 (各 1)

●総予算額 3,579,307 円 (令和 4 年度)

●会 議 総会・常任理事会・婦人部会 (代表者会議)・保健福祉部会・高齢者部会・青少年部会

## 主な事業

### ◆婦人部会

ふれあい会食会（芙蓉会）年7回  
赤い羽根共同募金（街頭）への協力  
区内美化運動協力  
研修会・健康講話

### ◆青少年部会

歩こう会実施（保健福祉部と共催）

### ◆高齢者部会

敬老祝いの会

### ◆保健福祉部会

歩こう会（青少年部会と共催）

### ◆その他

地域福祉懇談会



## 小学校での車いす体験



小学4年生を対象に車イスの体験教室を実施。見たことはあるが、実際に押したことがないのでワクワク。車イスの構造や操作の仕方について学び、2人1組になり利用する人、それを押しながらサポートする人になり、段差やスロープの体験をしてもらいました。

体験学習を通して人を思いやる心を育んでもらえたらと思います。



## 中央第一地区社協からのメッセージ

私たち中央第一地区社協では、子供からお年寄りまで安心して暮らせる町や地域を目指しています。ふれあい会食会（年7回）や敬老祝いの会を通して、さまざまな支援を行っています。地域の方々に対する活動の充実を目指して頑張っていきたいと思っています。

# 中央第二地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

貝塚・元木・下並木・池田・京町1.2丁目・日進町・小川町・南町・堤根  
(サンスクエア・セソール川崎京町ハイライズ含む)

## ●地域の特徴

川崎駅・八丁畷駅が最寄り。南武線・東海道線・京急本線が通っており幸区に隣接する。大型商業施設など商業地域が集中している。地域内の住宅の9割は集合住宅で高層マンションも増えた。簡易宿泊所が減り、生活保護受給者が減少した。外国人登録者が多い。人口密度が高いが地域活動する人が少ない。子どもが少ないなどの特徴がある。



人 口	32,446 人
世 帯 数	20,426 世帯
高齢者人口	6,569 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	20.25%
年少者人口	2,655 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	8.18%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

川崎小学校・川崎市福祉センター・各町内会館・教育文化会館  
京町小学校・日進町会館・福祉パルかわさき

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・老人クラブ・子ども会  
学校関係・青少年指導員・スポーツ推進委員  
ボランティア等 (ミニデイケア)・一般住民

## ●役員構成

相談役・顧問・会長・副会長 (3)・会計・監査 (2)・部会 (4)

## ●総予算額

1,543,000 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・常任理事会 (年 10 回)・会計監査 (年 1 回)・三  
役会 (随時)・理事会

各部会 (月 1 回)

総務部会・婦人部会・福祉部会・広報部会

## 主 な 事 業

### ◆総務部会

施設見学

### ◆婦人部会

地域福祉施設に奉仕・協力

市内統一美化活動参加

地区民児協活動に協力

### ◆福祉部会

こども食堂わいわいキッチン（月2回）

介護認知症予防カフェ  
「くるみクラブ」（月1回）

高齢者・障害者との文化交流活動

車いす貸し出しPR

### ◆広報部会

広報紙「きずな」の発行（年2回）



## 広報紙きずなの発行

会員の皆さんに社協や地域の活動への理解を深めていただくため、皆様の地域の社協だよりとして広報紙きずなを年2回発行。部数は11,000部、A4サイズ二つ折り両面4ページで読みやすいカラー印刷。地域の町内会員・自治会員・その他関係団体に配布。

紙面には社協の活動、総務・福祉・婦人・広報の各部会の活動、地域のイベント・街の宝ものコーナーではシリーズで各町内会・自治会の特徴のある活動を順次紹介しています。



## 中央第二地区社協からのメッセージ

当中央第二地区はほぼ住宅地域で最近ワンルームマンション、ファミリーマンションも多く世代の交代と多様性が進んでいる。

多様な住民同士の交流の創出、支え合いの希薄化、地域の担い手の固定化など課題が多い。多様なニーズに沿って対応して地区社協としての役割や活動を行えるように体制づくりを目指します。



# 渡田地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

渡田・渡田向町・渡田新町・渡田山王町・渡田東町・小田1丁目

## ●地域の特徴

区の西部で比較的低地である。川崎駅からもアクセスがよい。中小企業が多い。川崎区全体の中では比較的戸建ての多い住宅地である。また区内で二番目に高齢化率が高い。



人 口	18,761 人
世 帯 数	10,556 世帯
高齢者人口	4,986 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	26.58%
年少者人口	1,850 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	9.86%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

渡田いこいの家・町内会館・田島小学校・新町小学校・渡田中学校  
あおぞらハウス

## ●構 成

町内会・地区社協部会役員・民生委員児童委員  
地域見守りネットワーク・保護司

## ●役員構成

会長・副会長（4）・会計（2）・会計監査（2）・各部長（7）

## ●総予算額

2,309,431 円（令和 4 年度）

## ●会 議

総会（年 1 回）5 月中旬・三役会・役員会（年 3～4 回）  
各部会

総務部・広報部会・青少年部会・障害者福祉部会・乳幼児福祉部会  
はつらつ福祉部会・女性部会

## 主 な 事 業

- ◆**総務部会**  
社会を明るくする運動  
総会資料作り等の実施
- ◆**広報部会**  
社協広報「わたりだ」発行（年2回）
- ◆**青少年部会**  
ボウリング大会  
カローリング大会  
ティーボール大会  
羽根つき大会
- ◆**障害者福祉部会**  
あおぞら共生会への協力
- ◆**乳幼児福祉部会**  
おたのしみ会  
ミニ運動会  
親子体操
- ◆**はつらつ福祉部会**  
はつらつ演芸大会
- ◆**女性部会**  
合同会食会（年3回）  
3町会会食会（年3回）  
研修会
- ◆**その他**  
「ほのぼの会」（ミニデイケア）  
「子育てサロンわたりだ」  
「見守りネットワーク」に協力



## ほのぼの会



コロナ禍、活動を控えていた地域のお年寄りを対象にした「ほのぼの会」を再開しました。

地域包括支援センターの健康相談、参加者で楽しく合唱など楽しい時間を過ごすことができます。まだ参加者全員での会食はできませんが、お弁当を持ち帰っていただきます。



## 渡田地区社協からのメッセージ

住み慣れたこのまちに住む子どもからお年寄りまで、なかよく、楽しく、安心して生活できるよう活動しています。近隣9町会の役員・ボランティア・民生委員・児童委員他多くの方から協力をいただいています。

# 大島地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

大島上町・中島・大島・富士見 2 丁目

## ●地域の特徴

住宅地である。地域内にある市営住宅の高齢化率が 50%を超えている他、30%近くになる地域がいくつかあり区内で 3 番目に高い高齢化率である。

個人商店・コンビニが多い。2ヶ所総合病院がある他、川崎市教育文化会館や富士通スタジアムなどの大型施設も多い。



人 口	18,980 人
世 帯 数	10,328 世帯
高齢者人口	4,853 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	25.57%
年少者人口	2,021 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	10.65%

(令和 4 年 3 月現在)

●主な拠点 各町内会館 7 か所・大島いこいの家  
活動場所

●構 成 町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・老人クラブ・子ども会  
青少年指導員・スポーツ推進委員・一般住民・当事者団体

●役員構成 会長・副会長 (2)・会計 (1)・会計監査 (2)・町内会長 (7)・婦人部  
長 (6)・民生児童部会長 (2)・青年部会長・保護司区長 (2)・広報  
部会長

●総予算額 1,893,254 円 (令和 4 年度)

●会 議 三役会・理事会・定期総会

## 主 な 事 業

### ◆婦人部会

地域福祉懇談会  
 地域福祉講演会  
 小地域見守り福祉協力員の委嘱及び  
 研修  
 広報紙「社協おおしま」発行  
 高齢者ふれあい会食会  
 福祉施設見学・福祉問題の勉強会

その他老人部会、青少年部会、婦人部  
 会、民生児童部会、保護司部会、広報  
 部会  
 母親クラブ部会、総務部会で事業を実  
 施、協力



## 地 域 福 祉 講 演 会



コロナ禍のため令和3年度は中止を余儀なくされましたが、例年継続して11月に開催しています。

災害ボランティアセンター設置、成年後見制度、そして今年度（令和4年）はフレイル対策等、地域の方々が気になっていることを適宜丁寧に説明してくれる講演会は好評で毎回満席です。

今後も引き続き企画し実施して参ります。



## 大 島 地 区 社 協 か ら の メ ッ セ ー ジ

コロナ禍で従来の行事を3年間自粛せざるを得ませんでした。地域各町内会の創意工夫で児童見守り活動、スタンプラリー、芸術祭、バザー等しっかりと活動継続いただいていたことに感謝しております。コロナの状況判断しながら本来の社明運動や連合運動会他各種スポーツ行事等復活させ、今まで以上に福祉活動に力を注いでいく所存です。

# 大師第一地区社会福祉協議会

設立 昭和 44 年

## ●対象地域

伊勢町・川中島・大師駅前・藤崎

## ●地域の特徴

川崎大師の門前町である。羽田空港へも近い。平坦で自転車の移動がスムーズで川崎駅のアクセスもよいため大型マンションが増え、若い世代の転入も増加している。特に大師駅前町はこの5年で 2,000 人ほど増加した。川崎区内でも特に増加率の高い町であるが、高齢化率は地域全般で高い。藤崎 1 丁目は 30%を超えている。



人 口	22,662 人
世 帯 数	12,242 世帯
高齢者人口	5,407 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	23.86%
年少者人口	2,442 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	10.78%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

藤崎こども文化センター・藤崎いこいの家・川崎区役所大師支所  
川中島町内会館（神明神社社務所）・大師駅前町内会館  
大師中町町内会館・藤崎町内会館・伊勢町町内会館  
川中島小学校・藤崎小学校・川中島中学校

## ●構 成

町内会役員（川中島・伊勢町・藤崎・大師中町・大師駅前）  
民生委員児童委員・保護司・青少年指導員・老人クラブ・地域有識者  
ボランティア団体

## ●役員構成

会長・副会長（4）・会計（2）・会計監査（2）・理事（6）

## ●総予算額

2,312,348 円（令和 4 年度）

## ●会 議

総会（年 1 回）三役会・理事会（年 2 回）・臨時役員会（三役・理事）  
随時  
各事業部会（各事業部委員）随時・藤崎いこいの家運営委員会  
藤崎地域包括支援センター連絡会議（年 3～4 回）

## 主 な 事 業

### ◆総務部

視察研修

### ◆民生福祉部

地域福祉講演会

施設見学会

### ◆青少年福祉部

子ども食堂「にこにこだるまさん」

親子カフェ

講習会

食品配布

### ◆広報部

地域だより発行（年1回）

福祉広報発行（年1回）

### ◆高齢者福祉部

高齢者お茶飲みサロン

講習会

### ◆その他

地域福祉懇談会

敬老行事の支援

大師地区母子寡婦福祉会助成



## 子ども食堂「にこにこだるまさん」



本格的な「子ども食堂」の運営に先駆けて、子どもの居場所づくりを主題として、乱れた食生活を正しながら、楽しみながら、子どもたちの環境づくりを目標としてきました。

コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域の「食環境」に激変が起こり、困窮家庭や困窮児童の急増が目立つようになりました。これからは、フードパントリー（食配）をメインとした実施を試みたいと思っております。



## 大師第一地区社協からのメッセージ

大師第一地区は高齢化の傾向が顕著な所と言われております。独居高齢者の増加や地域のコミュニティの希薄化など大きく変化しています。暮らしの中にある福祉課題も山積みしております。地区社協は住民主体の組織です。地域の実情を知る身近な協力者を必要としております。

# 大師第二地区社会福祉協議会

設立 昭和 44 年

## ●対象地域

四谷上町・四谷下町・観音・池上新町・台町

## ●地域の特徴

平坦で全体が住宅地である。川崎大師駅を使用せずバスで川崎駅まで行く住民が多い。臨海部工場地帯の工場勤務の外国人も多く住む。



人 口	19,281 人
世 帯 数	10,078 世帯
高齢者人口	4,559 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	23.65%
年少者人口	2,211 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	11.47%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

各町内会館

## ●構 成

町内会・民生委員児童委員・保護司・ボランティア委員  
大師健康福祉ステーション・区社協・地域包括支援センター

## ●役員構成

会長・副会長 (5)・会計 (1)・監査 (2)・書記 (1)・福祉部 (4)  
以上理事  
広報部 (8)

## ●総予算額

4,545,861 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会・理事会・広報委員会

## 主 な 事 業

ふれあい会食会（年4回） ※4町会持ち回り  
広報誌「きずな」発行（年2回）  
役員研修会  
敬老品配布  
カローリング・ボッチャ大会 ※障害当事者も参加  
地域福祉懇談会  
認知症予防カフェ「生き生き茶防」



## 生き生き茶防



地域の方が生き生きといつまでも生活できるように、みんなで集まってお茶を飲み、認知症予防の体操などをして楽しい時間を過ごす。

4町会もちまわりで開催している。



## 大師第二地区社協からのメッセージ

私達、大師第二地区社協は子供からお年寄りまで、みんなが安心して暮らせる地域を目指して様々な福祉活動を行っています。私たちの活動は広報誌「きずな」で紹介しています。活動資金は皆様からの賛助会費を活用しています。ぜひ御協力ください。



# 大師第三地区社会福祉協議会

設立 昭和 44 年

## ●対象地域

殿町・出来野・大師河原・江川・田町・塩浜・日ノ出・夜光・浮島町・小島町・千鳥町・東扇島

## ●地域の特徴

臨海工場地帯に面しており、羽田空港が多摩川を挟んだ向かいにある。産業道路・首都高横羽線・川崎線・大師本線・東海道貨物線等の大規模な道路が多数通り交通量が多い。東扇島公園・川崎マリエンなど子育て環境に適している所もあり、若い世代の転入が増加している。新しい世代の町会の加入が課題になる。



人 口	18,712 人
世 帯 数	10,339 世帯
高齢者人口	3,530 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	18.86%
年少者人口	2,067 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	11.05%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

殿町 2・3 丁目会館・田町町内会館・日ノ出町内会館・殿町いこいの家  
庵島神社・水神社・殿町稻荷神社

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・老人クラブ  
子ども会・学校校長・PTA・青少年指導員・スポーツ推進委員  
ボランティア・婦人会・幼稚園

## ●役員構成

会長・副会長 (2)・会計 (1)・監事 (2)・理事 (4)  
委員 (16 →うち 2 名兼務)

## ●総予算額

2,670,731 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

理事会 (年 2 回)・会計監査・理事会 (年 1 回)・運営委員会

## 主な事業

ふれあい会食会（年6回）  
 ほほえみ元気体操  
 （健康づくりサポーターと大師支所保健師の協力のもと、  
 地区内3神社で持ち回りで開催）  
 殿町小学校での子ども福祉体験学習実施  
 地域福祉懇談会  
 役員研修会  
 川崎区社協食糧支援への協力（食糧寄付）  
 敬老者お祝い配りとお祝い事業



## ほほえみ元気体操



偶数月第三金曜日に開催。場所は田町稲荷神社・水神社・巖島神社で持ち回り開催。

コロナ禍で室内での支援活動の実施が難しかったため、大師支所の保健師やボランティアのサポーターと連携して開催している。

雨天の場合は中止。参加者からは好評でオリジナルの幟を作成して活動のPRをしている。



## 大師第三地区社協からのメッセージ

活動のための資金は地域の方々の賛助会費、赤い羽根の寄付活用で行っています。ご希望の活動、こうして欲しいなどのご希望をお待ちしております。

# 大師第四地区社会福祉協議会

設立 昭和 44 年

## ●対象地域

大師本町・大師町・東門前・昭和町・中瀬 2・3 丁目

## ●地域の特徴

川崎大師のある地域である。中瀬 3 丁目・東門前 3 丁目は子育て世代が多い。  
中瀬 1 丁目があるが全域は味の素の施設で住民はゼロである。

大師道として栄えてきた川崎縦貫道路・国道 409 号が通り交通量が多い。



人 口	17,501 人
世 帯 数	9,013 世帯
高齢者人口	3,632 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	20.75%
年少者人口	2,284 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	13.05%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

町内会館・大師支所・大師中央地域包括支援センター  
大師の里地域包括支援センター・大師いこいの家

## ●構 成

町内会・民生委員児童委員・町内会婦人部・ボランティアグループ

## ●役員構成

会長・副会長 (2)・会計 (1)・監事 (2) → 理事兼務・理事専務 (4)  
各委員長 (7)・委員 (20)

## ●総予算額

2,535,700 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・三役会・理事会・運営委員会 (年 5 回)  
臨時運営委員会 (年 1 回)・総務委員会 (年 5 回)・広報委員会 (年 6 回)  
研修委員会・会食会

## 主な事業

### ◆総務委員会

敬老祝い事業  
賀詞交歓会

### ◆広報委員会

広報誌「しあわせ」発行（年1回）  
各委員会のポスター作成

### ◆研修委員会

ほほえみ元気体操  
1日こども民生委員体験

### ◆会食委員会

ふれあい会食会（年9回）  
（コロナ禍で高齢者ふれあい会で代替開催）

### ◆福祉委員会

地域子育て交流会  
福祉教育への協力（大師小、東門前小）

### ◆いこい喫茶委員会

いこい喫茶（年5回）  
大師地区母子寡婦福祉会助成



## 子ども食糧支援の開催実施



令和4年12月28日（水）東門前小学校、大師小学校、その他を対象に東門前1、2丁目会館を使用させて頂き、希望者は事前につのり、役員の方々の協力と関係先からの支援を得て約100食分を準備、15～16時で実施、約80人以上が来館しました。

活動の中からはいろいろな問題点が見えてきましたが、今後の活動につないで行けたらと思います。



## 大師第四地区社協からのメッセージ

私達の第四地区社協は、各部委員会主催で、ほほえみ元気体操、いこい喫茶、ふれあい会食会、子育てサロン等を開催して、地域の皆様と福祉活動を推進しています。多数の参加をお願いします。今後の活動にぜひ御協力をお願いします。

# 田島地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

浜町・桜本・池上町・扇町・鋼管通・田島町・追分町・南渡田町

## ●地域の特徴

京浜工業地帯の中心部であり長い歴史がある。地域福祉に取り組む活発な地区である。田島支所が地区内にあり、福祉関連施設も多い。川崎駅へのバスが多く交通アクセスは便利である。区内で一番高齢化率が高い地区である。



人 口	23,924 人
世 帯 数	13,393 世帯
高齢者人口	6,431 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	26.88%
年少者人口	2,237 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	9.35%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

J F E 田島会館・かわさき地域生活支援拠点たじま・桜本中学校  
臨港中学校・田島いこいの家・桜本いこいの家・ふれあい館  
こうかんクリニック・福祉パルかわさき

## ●構 成

町内会関係・民生委員・地域包括支援センター  
かわさき地域生活支援拠点たじま

## ●役員構成

会長・副会長 (2)・会計理事 (1)・監查理事 (2)・理事 (10 内、  
部会理事 3)・部会長 (3)・事務局長 (1)・事務局 (2)

## ●総予算額

5,600,623 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・理事会 (年 3 回)・事務局会議 (年 3 回)  
部会  
婦人部会 会議  
広報部会 編集打合せ (年 2 回)  
老人部会 会議・事業実施  
福祉部会 会議・事業実施  
青少年部会 会議・事業実施  
いこいの家運営会議 (年 2 回)

## 主 な 事 業

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| ◆婦人部会<br>地域福祉講演会                            | ◆青少年部会<br>羽根つき大会<br>カローリング大会<br>講演会   |
| ◆広報部会<br>広報紙発行（年1回）                         | ◆福祉部会<br>講演会                          |
| ◆老人部会<br>老人クラブ演芸大会<br>統一美化運動<br>老人クラブ歩け歩け運動 | ◆その他<br>福祉の集い<br>地域福祉懇談会<br>みんなの輪大運動会 |



## 福祉の集い



福祉の集いは田島地区社協が連合町内会と協力して地域高齢者・児童や障害者の方々と共にカローリング大会、ペタンク大会、JFE 吹奏楽団の演奏、婦人部踊り等を実施。イベントには田島地区社協、連合町内会だけでなく公的機関、地域福祉団体、地元企業が一堂に会し協働し、福祉の集いを行います。



## 田島地区社協からのメッセージ

田島地区社協では、連合町内会をはじめ、福祉関係団体や地元企業、市民等の協働により、地域の方々が安心して暮らし続けることが出来る地域社会のより一層の実現に向け、高齢者をはじめ、障害者や子供、子育て世代と地域の方々が地域でつながりを深め、交流する場を開催しています。

# 小田地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

小田栄・京町3丁目・浅田・小田2～7丁目・白石町・大川町・田辺新田

## ●地域の特徴

京浜工業地帯の中心でそこで働く人の住まいとして形成された。小田栄のみ大規模マンションの建設の影響で若い世代が多く子ども割合が高い。古くからの住宅地で木造住宅が密集しており不燃化重点対策地区である。川崎駅へのバス便は多くアクセスはよい。白石町・大川町・田辺新田はほとんどが工業地帯である。



人 口	31,941 人
世 帯 数	16,209 世帯
高齢者人口	7,727 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	24.19%
年少者人口	4,005 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.54%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

小田五六会館・小田中央会館・小田いこいの家

## ●構 成

町内会・民生委員児童委員・保護司・老人クラブ・婦人会  
母親クラブ・社会福祉関係団体・学識経験者

## ●役員構成

会長・副会長 (3)・会計 (2)・会計監査 (2)・総務 (3)・顧問 (8)  
幹事 (23)・理事 (8) ※その他会長等が兼務

## ●総予算額

2,271,000 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・理事会 (年 5 回)  
部会  
総務部会 (年 1 回)  
広報部会 (年 5 回)・編集会議  
婦人部会 (年 1 回)  
福祉部会 (年 1 回)

## 主 な 事 業

### ◆総務部

地域福祉講演会  
社会を明るくする運動  
青少年育成事業

### ◆福祉部

地域福祉懇談会  
小学校福祉教育への協力  
ふれあい活動支援・助成  
高齢者健康増進行事

### ◆婦人部

男の料理教室  
高齢者健康増進行事  
子育てグループ助成  
研修会

### ◆広報部

広報紙発行（年1回）

### ◆その他

あいさつ運動  
敬老行事



## 福祉学習のお手伝い



昨年・今年と地区内小学校（3校、4年生対象）で行われている福祉学習のお手伝いをしています。

車イスに乗ったり、体験グッズを身につけて動いてみたり、当事者の方等のお話を聞いたり、質問をしたりする学習です。子ども達の他者を思いやる気持ちや多様性への理解が深まるお手伝いが少しでもできるとよいと思っています。



## 小田地区社協からのメッセージ

小田地区社協は地域に住む皆さん誰もが安心安全に暮らせるよう、色々な活動を行っております。

あいさつ運動をはじめ、男の料理教室、福祉懇談会等々です。各町内会掲示板にお知らせをいたします。ぜひご参加ください。



# 南河原地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

幸町・中幸町・南幸町・柳町・大宮町・都町・堀川町

## ●地域の特徴

1 世帯あたりの人員数が幸区内で一番少ない。ひとり暮らし高齢者数の割合が幸区平均を上回る。川崎駅が主な最寄り駅である。地域に工場跡地にできた大型商業施設や地域医療支援病院他、企業の事業所が多数あり日中の人口が多い。



人 口	28,403 人
世 帯 数	16,926 世帯
高齢者人口	5,022 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	17.68%
年少者人口	2,875 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	10.12%

(令和 4 年 3 月現在)

●主な拠点 南河原いこいの家  
活動場所

●構 成 いこいの家運営委員会・町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司  
老人クラブ・子ども会・ボランティア・当事者団体

●役員構成 会長・副会長・事務長・常務理事・会計・監事

●総予算額 5,872,692 円 (令和 4 年度)

●会 議 総会 (理事総会) (年 1 回)・常務理事総会 (年 1 回)・運営委員会 (年 12 回)

ひとり暮らし老人会食会担当者会議・すこやかサロン担当者会議  
いこいの家運営委員会・いこいの家まつり実行委員会・ボランティア会議

## 主 な 事 業

### ◆高齢者・障害者福祉

一人暮らし老人会食会（年6回）

配食サービス（年6回）

すこやかサロン（月1回）

「みんなの健康塾」出張講座への協力  
介護講習会の実施

### ◆子育て支援

親子のたまり場の運営（月1回）

### ◆児童・青少年福祉

青少年育成を行う団体への助成

学校・福祉施設と連携した福祉教育の実施

### ◆その他

ボランティアの研修

ボランティア銀行運営委員会（月1回）

（地域の福祉ニーズを把握して対応）

広報紙「社協南河原」（年3回）



## 一人暮らし老人会食会



一人暮らしの高齢者を対象に、手作りの食事を食べていただきながら、懇談、保健師による血圧測定、健康づくりの話、地元の方々の日本舞踊の披露等の催し物、地域包括支援センター職員による話や相談窓口の開設。

毎回90名程の参加があり、参加者からは季節ごとに旬の食材がいかされた献立は、毎回美味しいと感謝の声をいただきます。（衛生には特に気をつけています。）



## 南河原地区社協からのメッセージ

少子高齢化は現実の物となり、ますます増加しています。地域包括ケアシステムを充実させ、この地域の子供たちや幼児、高齢者、誰もがこの南河原地区で安心して暮らせる地域づくりに、町内会連合会、民生委員児童委員協議会、保護司会、老人クラブ、行政関係機関とも連携し、事業に取り組んでまいります。

# 御幸東地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

小向町・小向西町・小向仲野町・戸手・戸手本町・神明町・紺屋町・遠藤町

## ●地域の特徴

幸区役所・福祉パル・老人福祉センターがある地域である。全般として平地で府中街道や国道 1 号線が通り交通量が多い。バス便で川崎駅へのアクセスもよい。1 世帯当たり人員が区内でもっとも多く、戸建てが多い地域である。



人 口	29,652 人
世 帯 数	13,922 世帯
高齢者人口	5,821 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	19.63%
年少者人口	4,130 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	13.93%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

御幸集会所・各町内会館・御幸いこいの家・福祉パルさいわい  
さいわい健康福祉プラザ

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・青少年指導員  
ボランティア

## ●役員構成

会長・副会長 (3)・会計・監事 (2)・事務長・常務理事 (19)

## ●総予算額

5,300,000 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・常務理事会・専門部 (女性部)・代表者会議

## 主 な 事 業

### ◆総合企画

福祉活動の企画・実施  
広報誌「社協みゆき東」(年1回)

### ◆児童・青少年福祉部

関係団体への助成  
子育て支援事業(各町内会単位)

### ◆その他

ボランティアセンターの運営

### ◆高齢者福祉

サロンやすらぎ(月4回)  
ミニサロン(町内会・自治会単位で企画)  
(年6回以上)  
くつろぎ会食会(各年6回)  
戸手町・小向町・小向仲野町・  
小向西町・戸手中部・戸手本町2丁目・  
神明町



## サロンやすらぎ



毎月4回毎週月曜日午前10時から15時まで、御幸集会所において「サロンやすらぎ」を開催し、茶話会、手芸などを実施しています。月に1度は区役所の保健師さんをお招きして健康相談・血圧測定も実施しています。各町内会のボランティアの皆様にも多数協力いただいています。

「孤独や閉じこもり」を少しでもなくし、皆で教えたり、教えられたり趣味を楽しんでいます。また、手づくりした昼食やお弁当を囲んで笑顔が溢れる楽しいひと時を過ごしていただいています。



## 御幸東地区社協からのメッセージ

私たち御幸東地区社協は、お子様からお年寄りまで、誰もが住みやすく安心して暮らせる地域づくりを目指して積極的に福祉活動を実施しています。

「サロンやすらぎ」のほかに、くつろぎ会食会・ミニサロンをそれぞれ年6回、ご利用者様の利便性を考え、各町内会・自治会毎に工夫を凝らした活動を行っています。

# 河原町地区社会福祉協議会

設立 昭和 53 年

## ●対象地域

河原町

## ●地域の特徴

河原町全体が県営・市営の河原町団地によって占められており戸建てが少ない。河原町として町単独の地区社協である。ここに長く住んでいる人が多く、高齢化率が約 54%、後期高齢者は 34%と高齢化が顕著な地域である。年少人口は少ない。



人 口	6,419 人
世 帯 数	3,567 世帯
高齢者人口	3,454 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	53.81%
年少者人口	403 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	6.28%

(令和 4 年 3 月現在)

●主な拠点 河原町の陽だまり・河原町体育館  
活動場所

●構 成 自治会・民生委員児童委員・ボランティア・河原町老人クラブ連合会  
連合こども会

●役員構成 会長・副会長 (2)・事務長・事務次長 (2)・一般会計・特別会計  
会計監査 (2)・理事 (22)

●総予算額 5,449,442 円 (令和 4 年度)

●会 議 役員会 (偶数月第三火曜日)・拡大理事会 (奇数月第三火曜日)  
部会

高齢者福祉部会・児童福祉部会・広報部会

「河原町の陽だまり」の運営

ボランティアセンター「ひまわり」の運営

## 主 な 事 業

### ◆「河原町の陽だまり」の管理運営

講座の開催  
陽だまり通信の発行

### ◆高齢者支援

ふれあい会食会「喜楽会」(年6回)  
健康長寿まつりの開催

### ◆子育て支援

子育てサロン「たんぽぽ」

### ◆その他

ボランティアセンター「ひまわり」で  
ボランティアのコーディネート  
自主財源の確保  
賛助会員の増員  
福祉バザーの開催  
広報版を活用したPR活動  
研修会



## ボ ラ ン テ ィ ア ひ ま わ り



河原町団地は高齢者が多い団地で、特に一人暮らしの高齢者が日常生活で困っていることの要望があれば対応しようということで、ボランティアセンター「ひまわり」を組織して活動しています。

例えば高いところの電球交換や浴室の掃除等を2人1組で出向いて応えています。

又、簡単な電気の配線や家具の移動、粗大ゴミの所定場所までの運搬等を行っています。



## 河原町地区社協からのメッセージ

私たち河原町地区社協は高齢者を中心に安心して暮らせる地域を目指して様々な福祉活動を行っています。「河原町の陽だまり」の運営は、健康講座や終活講座を毎月開催し、喜ばれております。

# 御幸西地区社会福祉協議会

設立 昭和 37 年

## ●対象地域

下平間・古川町・塚越・新塚越・古市場・東古市場

## ●地域の特徴

地域北部は多摩川に面し 西部は南武線沿いになり駅から近くほぼ平坦な地域。第二京浜・府中街道が通り大手企業の事業所などがある。特に塚越地区では工場跡地に大型マンションが建ち、若い世帯が増えている。年少人口割合は区内で最も高い。また集合住宅が増え、1世帯あたりの人員は区内で二番目に高い。



人 口	41,060 人
世 帯 数	19,579 世帯
高齢者人口	9,301 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	22.65%
年少者人口	5,899 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	14.37%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

下平間・古市場いこいの家・塚越の陽だまり・各町内会・自治会会館  
御嶽神社社務所・天満神社社務所・さいわい健康福祉プラザ  
フーール川崎下平間集会所・古川神明神社社務所

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・老人クラブ  
母親クラブ・ボランティア団体・青少年指導員会

## ●役員構成

会長・副会長（3）・事務長（1）・会計（1）・監事（2）

## ●総予算額

6,164,048 円（令和 4 年度）

## ●会 議

理事会・常務理事会・三役会議・会計監査・いこいの家運営委員会  
婦人部会定例会・塚越の陽だまり運営委員会  
下平間・古市場いこいの家運営委員会・福祉非常時対策検討委員会

## 主 な 事 業

### ◆高齢者福祉

ひとり暮らし等高齢者  
ふれあい会食会「味菜の会」(4か所 各回6回 合計24回)  
研修会の実施

### ◆子育て支援

子育てサロン「バンビひろば」(月1回)  
(御幸西第一地区民児協と共同)  
母親クラブへの助成、再結成のための支援  
地域子育て支援センターふるいちばボランティア  
(御幸西第一地区民児協・地域ボランティアと共同)

### ◆青少年福祉

地区内青少年指導委員協議会助成・地域の保育・教育機関との連携  
会食会と連携した福祉教育

### ◆地域福祉

高齢者とのつどい～地域コミュニティ～  
「塚越の陽だまり」の運営管理

### ◆その他

理事研修会  
広報活動 社協だより発行(年2回)  
福祉非常時支援基準検討委員会  
賛助会のつどい



## ボッチャを通じた異世代交流



子どもから高齢者・障害者など誰でもできるボッチャの体験ができる道具と場所をまず塚越の陽だまりと下平間いこいの家に用意しました。道具は地域の方が2セット寄付してくださったものを活用し、今後古市場いこいの家にも設置できればと考えています。

誰でもできるニュースポーツとして人気があがっていますが、体験した後も楽しみたいという方を増やしていき、気軽にできるようになればと思っています。ボッチャに集まった人同士話ができ、つながりができるような事業となればと考えています。



Message

## 御幸西地区社協からのメッセージ

当地区社協はいつまでもこの地域に暮らしていきたいと住民の皆さんが思えるように地域の密接なつながりを作っていくことを念頭に活動しています。その活動資金は賛助会費が基となっており、当地区でも多くの方にご協力いただいております。地域福祉に還元できるような事業を今後も計画していきますので、これまで同様に賛助会員としてご協力いただけますようお願い致します。



# 日吉第一地区社会福祉協議会

設立 平成8年

## ●対象地域

鹿島田・北加瀬・矢上・新川崎

## ●地域の特徴

横須賀線新川崎駅・南武線鹿島田駅が近い。新しいマンション建設が進み、人口の増加が著しい。若い世代も増加。年少人口割合が他の区内地区社協と比較して高い。高齢者割合はほぼ年少人口割合とほぼ同数である。



人 口	22,140 人
世 帯 数	10,545 世帯
高齢者人口	3,703 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	16.73%
年少者人口	3,548 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	16.03%

(令和4年3月現在)

## ●主な拠点 活動場所

日吉いこいの家、鹿島田・北加瀬の各町内会館

## ●構 成

町内会・民生委員児童委員・保護司・老人クラブ・母親クラブ・小・中学校PTA・子ども会・商店会・ボランティア

## ●役員構成

会長・副会長(4)・会計(1)・ボランティア代表(4)  
老人会代表

## ●総予算額

3,067,138 円 (令和4年度)

## ●会 議

総会<理事会>(年1回)・常務理事会・運営委員会(隔月)  
いこいの家運営委員会

## 主な事業

### ◆児童・青少年福祉

赤ちゃんハイハイあんよの集い（年1回）  
子育て支援事業  
ワンダーひろば（月1回）  
ぽぽんたらんど（月1回）  
母親クラブ（鹿島田・北加瀬）  
地区内の子育て団体への助成

### ◆障害者福祉

地区内身体・知的障害者施設等でのボランティア活動  
高齢者ふれあい事業にコラボ  
各施設で作ったパンクッキーなどを利用

### ◆広報

広報紙「鹿島田・北加瀬の福祉」発行（年2回）

### ◆地域福祉

高齢者ふれあい活動  
ぬくもりの会（鹿島田・北加瀬各6回）  
ハラハラ亭（原会場・山崎会場で延べ12回）  
高齢者健康講座  
日吉いこいの家運営委員会への協力  
地域内の老人クラブへの助成  
高齢者の地域コミュニティ  
ひろば鹿島田（月1回）  
喫茶ひらめき（月1回）

### ◆研修

ボランティアを中心とした施設見学等  
市・区社協実施研修の参加



## 男の手料理ハラハラ亭

従来からの発想、「してもらう人」「してあげる人」という関係ではなく、高齢者の皆さんもイベントに参加する「参加型福祉事業」としての試行錯誤からはじまりました。

高齢社会の皆さんの常識は「女・作る人、男・食べる人」でしたが、これを逆転させてみました。男（爺さん）が作り、女（婆さん）が食べる・・・そういう会食会です。本当に作れるのか?! 爺さんたちはハラハラドキドキ。何をたべさせられるのか?! 婆さん達もハラハラ。そして会場は北加瀬原町（ハラハラ）×3すでに16回を重ね12月の「すき焼き弁当」はお持ち帰りで100食を数えました。料理人として、またお客さんとして男性の参加者が多いのが自慢です。



## 日吉第一地区社協からのメッセージ

コロナ禍で社協活動が制限されてしまうことが多いですが、皆さんが地域活動に参加しやすい環境やイベントを作ることが社協の役割かと思えます。操車場の陸橋という障害物がありますので、北加瀬・鹿島田と分かれませんが、情報交換しながら進めて参ります。ふるってご参加ください。

# 日吉第二地区社会福祉協議会

設立 平成 8 年

## ●対象地域

南加瀬

## ●地域の特徴

平坦な地域である。自転車で移動する人が多い地域で横須賀線の乗り入れで新川崎駅周辺は大きく街並みが変わった。マンションも増えた。大型スーパーマーケットも多く、賑わっている。高齢化率は区内でも特に高くなっており、要介護認定者数の割合は区の平均を上回る。



人 口	19,402 人
世 帯 数	9,543 世帯
高齢者人口	4,414 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	22.75%
年少者人口	2,347 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.10%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

日吉出張所・町内会館・日吉いこいの家  
特別養護老人ホーム「夢見ヶ崎」

## ●構 成

町内会・民生委員児童委員・保護司・ボランティア・老人会・子ども会  
母子衛生（子育て支援団）・本会の趣旨に賛同し協力する組織、団体

## ●役員構成

会長（1）・副会長（3）・会計（1）・監事（2）・常務理事（12）

## ●総予算額

2,105,591 円（令和 4 年度）

## ●会 議

理事会（総会）（年 1 回）・常務理事会（月 1 回）

## 主 な 事 業

### ◆高齢者

独居高齢者の会食会「ぬくもりの会」(年6回)、「社会食会」(年6回)  
高齢者の集い「語らいの会」 中央地区と辻地区 (各グループ年5回)  
特別養護老人ホームでボランティア活動 (園芸・居酒屋・清拭タオル巻き)  
いこいの家 (日吉・小倉) 行事参加・運営委員会参加  
転倒予防教室2か所で実施

### ◆次世代育成支援活動

子育て講演会  
赤ちゃんハイハイあんよの集い (年1回)  
子育てグループの援助  
子育て支援「母子衛生」(月1回)

### ◆障害者福祉

こぶし園 (知的障害者施設) への  
行事参加協力



## 子 育 て 支 援 母 子 衛 生



毎月第3月曜日、原町会館2階の畳部屋にて開催しています。毎回30～60名程のお父さん、お母さん、乳幼児が集まり、乳児の体重・身長を測定し、栄養・育児相談会や乳幼児の遊びを行っています。

又、育児中に孤独になりがちなお母さん方の情報交換場所にもなっています。新米お母さん、積極的に御参加ください。



### 日吉第二地区社協からのメッセージ

私たち、日吉第二地区社協は、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせる地域を目指して、ボランティア福祉活動を行っています。活動資金は、地域皆さまからの賛助会費を活用しています。ぜひご協力ください。又、ボランティア活動に参加を御希望の方は、地区社協会員に御連絡ください。

# 日吉第三地区社会福祉協議会

設立 平成 8 年

## ●対象地域

小倉・東小倉・新小倉

## ●地域の特徴

地区内に駅はないが、JR の鶴見信号場の再開発や新川崎駅から近く便利のためマンションが多く建ち、若い世代の転入が増加した。5 歳未満の子どもの増加率が著しく保育園も多い。一人暮らし高齢者割合が幸区の平均を下回る。

築 30 年以上の大型マンション等で高齢化が進んでいる。



人 口	24,809 人
世 帯 数	11,492 世帯
高齢者人口	5,269 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	21.24%
年少者人口	3,779 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	15.23%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

小倉公会堂・小倉いこいの家・小倉神社社務所

## ●構 成

町内会・自治会・老人会・商店会・民生委員児童委員・保護司  
子ども会・PTA・幼稚園・医療機関・神社寺院・金融機関・福祉施設  
老人クラブ・施設関係・ボランティア団体

## ●役員構成

会長・副会長（2）・副会長兼会計（1）・事務長・常務理事（43）  
会計監査（2）

## ●総予算額

3,395,000 円（令和 4 年度）

## ●会 議

総会（年 1 回）・常務理事会（年 1 回）・運営委員会（年 11 回）

## 主 な 事 業

### ◆高齢者福祉

高齢者ふれあい会食会  
 小倉地区：小倉公会堂（年6回）  
 デイ「陽だまりっこ」（月1回）  
 地区内の特別養護老人ホーム・  
 グループホーム等有料老人ホーム  
 行事の手伝い  
 敬老会・祝金贈呈  
 （小倉5町会と共催事業）

### ◆青少年育成

小倉、東小倉小学校行事へ参加  
 小学校卒業生への卒業記念メダル贈呈

### ◆小倉の駅舎「陽だまり」の運営に参加

### ◆子育て支援

赤ちゃん相談・親子遊びへの助成  
 赤ちゃんハイハイあんよのつどい  
 （年1回）  
 幼児クリスマス会  
 子育てグループへの助成

### ◆その他

広報誌「おぐらの福祉」発行（年2回）  
 ボランティア日帰り研修会



## デイ・陽だまりっこ



高齢者（おおむね60歳以上）を対象に、毎月1回第2水曜日に開催しています。

内容は保健師による健康相談、チェック、ラジオ体操、ハーモニカ伴奏による思い出合唱、ゲーム、昼食、健康や防犯などの話題提供等を行っています。

参加者は毎回20名程度となっています。



### 日吉第三地区社協からのメッセージ

多くの人と知り合うことができ、誰もが気軽に参加できる事業運営を行っています。安心して心豊かに暮らせる街づくりのため、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

# 住吉地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

荻宿・西加瀬・木月・木月住吉町・木月伊勢町・木月祇園町・木月大町・井田  
井田中ノ町・井田杉山町・井田三舞町

## ●地域の特徴

元住吉駅周辺は学校が多数あり学生が多い。駅周辺の商店街が活気に溢れている。南部の井田山は雑木林や野菜畑も残る。周辺は養護学校・福祉施設・病院・研究施設等多数建つ。地域全体 5 年前よりも人口が増加している。



人 口	60,576 人
世 帯 数	32,837 世帯
高齢者人口	10,070 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	16.62%
年少者人口	7,516 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.41%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

川崎市国際交流センター・住吉会館・住吉西公園・西加瀬いこいの家  
井田いこいの家・川崎市生涯学習プラザ・福祉パルなかはら

## ●構 成

町会・自治会・民生委員児童委員・保護司

## ●役員構成

顧問・会長・副会長・会計・監査・部会長

## ●総予算額

9,178,781 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会・会長三役会・常任理事会・会計監査会・理事会  
部会

企画総務部・婦人部・高齢者福祉部・保健福祉部・青少年福祉部

## 主 な 事 業

### ◆企画総務部

広報紙「えがお住吉」の発行（年1回）  
研修会の企画・実施  
外部関係団体への助成事業

### ◆高齢者福祉部

福祉講座「元気のでる歌の会」  
年末慰問品配布  
福祉講座

### ◆青少年福祉部

青少年育成リーダーとの交流会  
アフタヌーンコンサート  
住吉地区子どもまつり

### ◆婦人部

ふれあい会食会  
井田いこいの家（年6回）  
西加瀬いこいの家（年6回）  
街頭募金

### ◆保健福祉部

介護予防のための講演会  
明るい老後生活を目指した講演会

### ◆その他

井田いこいの家まつりに協力  
西加瀬いこいの家まつりに協力



## 講座・講習会（保健福祉部）

時代にあったテーマを題材に年に3回程度講座・講習会を開催。参加者は町会・自治会の協力により募集。

講師は川崎市消費者行政センター、井田病院等に依頼。会場は川崎市国際交流センター。

<令和4年度は次のとおり>

### ①明るい老後をめざして

- ・医療保険・介護保険・年金等の社会保険制度に強くなる
- ・在宅介護か施設か？終の棲家選び

### ②犯罪被害者支援講習

### ③新型コロナウイルスの最新情報

※開催を通じて親睦等を深めることも目的としています。



## 住吉地区社協からのメッセージ

私たちは、地域に暮らす人々との絆を大切に、心豊かに生活できる環境づくりを進めてまいります。また、行政情報や住吉地区社協の活動をお知らせすることで、皆様と共に支え合える地域づくりを目指してまいります。ご協力を宜しくお願い申し上げます。



# 玉川地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

上平間・北谷町・田尻町・中丸子・下沼部

## ●地域の特徴

多摩川に面した細長い地域である。多摩沿線道路・南武沿線道路が平行して通っており交通量が多いが交通の便がよい。中丸子周辺はマンション建設が進んでおり若い世代も増えている。

地域内は人口が増加している。昔ながらの祭事や地域のつながりが残る地域である。



人 口	35,841 人
世 帯 数	18,370 世帯
高齢者人口	6,293 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	17.74%
年少者人口	4,653 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	13.11%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

中丸子いこいの家・アイマートみやまえ  
町内会館・中丸子神明神社社務所・特別養護老人ホームいせうら

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・青少年指導員  
スポーツ推進委員等

## ●役員構成

会長・副会長（3）・会計・企画調査部長・婦人部長  
高齢者福祉部長・保健福祉部長・青少年福祉部長・監事（2）

## ●総予算額

5,245,302 円（令和 4 年度）

## ●会 議

総会・常任理事会・三役会・推薦委員会  
部会  
婦人部・保健福祉部・高齢者福祉部・青少年部  
編集委員会・中丸子いこいの家運営委員会  
玉川地区子育て支援推進委員会

## 主 な 事 業

### ◆企画調査部

社協「ぎょくせん」発行（年2回）  
なかはら福祉健康まつりに参加

### ◆婦人部

ひとり暮らし高齢者会食会（年8回）

### ◆保健福祉部

健康に関する講習会（年2回）

### ◆高齢者福祉部

シルバーサロン  
上平間第三町会会館（月1回）  
中丸子（月1回）

### ◆青少年福祉部

玉川地区連合運動会  
玉川地区スポーツ大会  
玉川地区こどもまつり

### ◆子育て支援推進委員会

子育てサロン「わいわいクラブ」  
中丸子神明大神（月1回）  
上平間第三町会会館（月1回）

### ◆その他

福祉バザーの開催



## 福 祉 バ ザ ー



玉川地区内の福祉事業関係者が協力して福祉の増進を図ることを目的として実施しています。町会の協力を得て、地域住民から寄附品を集めています。毎年多くの方からのご協力をいただき、玉川地区内の地域福祉活動の啓発にも役立てられている事業です。地域福祉のみならず、SDGsの観点からも継続して行ってまいりたいと考えています。



## 玉川地区社協からのメッセージ

コロナ禍では多くの活動が中止となりました。1日も早い終息と再び地域の皆さまとともに地域活動ができることを祈っております。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 丸子地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

上丸子山王町・上丸子天神町・上丸子八幡町・新丸子町・新丸子東・丸子通

## ●地域の特徴

北部は多摩川に面している。地域の住宅の9割が集合住宅である。新丸子・武蔵小杉駅が近く都心や横浜へのアクセスも良く、商店街も賑わって活気があり、利便性が高い。マンションも増加。生産年齢層の割合も区内で一番高い。高齢化率も低く、若い地域といえる。昔からの住宅街と混合している。



人 口	29,159 人
世 帯 数	17,510 世帯
高齢者人口	4,296 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	14.73%
年少者人口	3,072 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	10.54%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

丸子地区連合町内会館・丸子多摩川いこいの家

## ●構 成

町内会・民生委員児童委員・保護司・一般住民

## ●役員構成

会長・副会長・会計・部長・副部長・事務局長・事務局次長・監事  
その他

## ●総予算額

3,008,359 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・理事会 (年 5 回)・監事会 (年 1 回)

各部会

調査宣伝部・女性部・高齢者福祉部・保健福祉部・青少年福祉部  
障がい者福祉部・地域包括ケアシステム推進部

各委員会

丸子地区子育て支援推進委員会・丸子多摩川いこいの家運営委員会  
防災ネットワーク委員会

## 主 な 事 業

- ◆調査宣伝部  
他都市の視察研修会  
広報誌「まるこふくし」(年1回)
- ◆女性部  
ひとり暮らし老人会食会  
「ももの会」(年6回)  
手芸教室ポピー会(月2回)  
丸子の渡し祭りに協力
- ◆高齢者福祉部  
男の健康マーじゃん(月1回)  
シニア演芸会  
丸子すこやか会(月1回)  
丸子多摩川いこいの家まつりに協力
- ◆保健福祉部  
講座(年2回)
- ◆防災ネットワーク委員会  
情報送受信体制の強化
- ◆青少年福祉部  
子ども向け防災映画、わくわくコンサート、花火大会  
丸子の渡し祭りに協力  
小学生マラソン大会に協力
- ◆障がい者福祉部  
区社協障がい者(児)リフレッシュ事業への協力、  
ボッチャゲーム体験
- ◆子育て支援推進委員会  
子育てサロンあゆみ  
0歳児サロン(2か所同時開催)・1歳児サロン  
小学校 生命の授業
- ◆地域包括ケアシステム推進部  
懐かしの昭和レコード鑑賞会  
映像で見る昭和の歴史鑑賞会  
シニアウォーキングの会



## 小学校で「生命の授業」



6年生の総合学習の一環として、児童が乳幼児とふれあうことで、命の大切さを学び、豊かな心を育ててもらおうと、小学校と連携し、毎年開催しています。「赤ちゃんは小さくてあたたかい」「お母さんの大変さがわかった」「両親にありがとうと伝えたい」など、児童からはこのような感想がよせられました。12歳という節目の時期に命の尊さにふれることで、子どもたちも情緒豊かに成長していると感じています。これからも地域の方々と協力して続けていこうと思います。



## 丸子地区社協からのメッセージ

丸子地区社協は、「助け合い、支え合いのまちづくり」を進めています。

「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で、自分らしく暮らしていると感じながら参加できる新たな居場所」です。「高齢者、子ども、子育て中の親 その他」について、順次まとめて参ります。地区社協の広報誌「まるこふくし」等で紹介しますので、是非、ご参加頂き、健康寿命の延伸につなげてください。

# 小杉地区社会福祉協議会

設立 昭和33年

## ●対象地域

小杉町・小杉陣屋町・小杉御殿町・等々力・今井上町・今井仲町・今井南町・今井西町・市ノ坪

## ●地域の特徴

武蔵小杉駅のある地域である。再開発で交通の利便性が高まり、高層マンションが増加した。町の変化は全国的にも知られ駅の混雑等が大きな課題。小杉町・市ノ坪は5年で約6,000人の人口増である。新しい住民との関わりが地区内で課題となっている。高齢化率は低く、子どもと高齢者の数がほぼ同数であるが等々力のみ高齢化率が26%と突出しており、駅から遠く買い物等で不便する高齢者が多い。



人 口	52,543 人
世 帯 数	26,704 世帯
高齢者人口	7,515 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	14.30%
年少者人口	7,524 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	14.32%

(令和4年3月現在)

## ●主な拠点 活動場所

小杉二丁目会館・市ノ坪上町会館・市ノ坪住宅集会所・中原中学校福祉パルなかはら・等々力いこいの家

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・一般住民

## ●役員構成

会長・副会長（4）・会計・部長（4）・監事（2）

## ●総予算額

6,026,131 円（令和4年度）

## ●会 議

総会（年1回）・常務理事会（年6回）・理事会（年1回）  
各部会

総務企画部・女性部・高齢者福祉部・青少年福祉部  
等々力いこいの家運営委員会・小杉地区子育て支援推進委員会

## 主 な 事 業

### ◆総務企画部

視察研修  
広報誌「福祉だよりこすぎ」(年1回)

### ◆ひとり暮らし高齢者会食会

等々力いこいの家 (年6回)  
市ノ坪上町会館 (年6回)  
市ノ坪住宅集会所 (年6回)  
今井中学校・今井西町内会館 (年6回)

### ◆高齢者福祉部

勉強会・ビデオ学習勉強会

### ◆女性部

ひとり暮らし高齢者会食会  
街頭募金・花見まつり運営に協力

### ◆青少年福祉部

子育てサロンの実施  
子育てサロンこすぎ (月1回)  
子育てサロンとどろき (月1回)  
なかはらこども未来フェスタでパネル展示  
ニュースポーツ大会に協力



## 子育てサロンこすぎ (対象2か月～1歳6か月)

小杉地区は再開発により子育て世代が数多く転入しており、子育てサロンは地域でお互いの顔が見える関係づくりに重要な役割を果たしています。

子育てサロンこすぎは、平成15年より中原中学校を活動拠点に月1回開催し、継続20年となりました。乳幼児に加え、小学6年生「命の授業」、中学3年生「幼児の生活と家族の授業」などの交流学習を通し、親子と児童生徒とがふれあう貴重な交流の場となっています。

子育てサロンの参加者から「縁もゆかりもない土地かつコロナ禍のため不安いっぱいでしたが、参加をきっかけに輪が広がり、地域との繋がりを実感しました」と感謝のことばを頂きました。今後も地域との繋がりの大切さを胸に、地域に貢献したいと思います。



## 小杉地区社協からのメッセージ

小杉地区は中原区のほぼ中央に位置し、ここ10年で超高層マンションが多く建設されました。会食会は4か所の会場で行っておりますが、コロナ禍で殆どの地区で実施が見送られ、昨年末頃からお弁当の配布形式で開催されており、お花見会は3年連続中止でしたが、子育てサロンはマンション新住人の増加もあり、予約制をとり少しずつ動き始めております。

# 大戸地区社会福祉協議会

設立 昭和33年

## ●対象地域

宮内・上小田中・上新城・新城中町・下新城・新城・下小田中

## ●地域の特徴

南武線2駅が最寄り、府中街道・中原街道・南武沿線道路が通り平坦な住宅街である。交通の利便性が高く商店街・大手スーパー・飲食店も充実しており賑わい若い世代も多く住む。

高津区との境になる宮内周辺は中小の製造業等の工場が多く準工業地域である。下小田中地域は畑が残っている。



人 口	82,371 人
世 帯 数	41,492 世帯
高齢者人口	12,643 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	15.35%
年少者人口	10,887 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	13.22%

(令和4年3月現在)

## ●主な拠点 活動場所

ごうじいこいの家・新城いこいの家・JA セレサ川崎中原支店  
福祉パルなかはら・ディアクレスト武蔵中原・宮内公民館  
新城神社・新城中央会館・福祉施設・神明会館

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司 等

## ●役員構成

会長・副会長（5）・会計・各分会 / 部長・副部长（17）・監事（2）

## ●総予算額

6,218,641 円（令和4年度）

## ●会 議

監事会（年1回）・常任理事会（年4回）・総会  
各分会

総務部・女性部・高齢者/障がい者福祉部・保健福祉部  
青少年福祉部・子育て支援部

## 主 な 事 業

### ◆総務部

視察研修  
福祉健康まつりに参加協力  
住民福祉懇談会（年1回）

### ◆女性部

ひとり暮らし会食会おしゃべり会  
（年6回）

### ◆子育て支援部

お外で子育てサロン（クリスマス会）  
スタッフ研修・交流会

### ◆保健福祉部

健康チェックイベント  
健康講座 講演会

### ◆青少年福祉部

子どもふれあい事業  
小学生体験ツアー  
小学生体験活動

### ◆高齢者・障がい者福祉部

高齢者ふれあいDAY（5ヶ所で実施）  
障がい者ふれあい事業（施設みやうちで  
多摩川花火大会にあわせて実施）  
新春歩こう会

### ◆その他

いこいの家の運営に協力  
長寿祝品配布事業



## 住 民 福 祉 懇 談 会

地域の福祉課題を把握し、地域住民の福祉向上のために、地域住民、地区社協関係者を対象とした講演会・懇談会を開催しています。

「認知症」「糖尿病」をテーマとした医師の出前講座や、「交通安全」に関する警察からの講座など、毎年趣向を凝らした内容で実施をしています。大戸地区は面積が広いため、毎年会場を変えながら、広く住民が参加できるように工夫しながら事業を行っています。



## 大 戸 地 区 社 協 か ら の メ ッ セ ー ジ

社協の基本理念をもう一度考えてみる事が非常に大事である。みんなが主役、みんなでつくる、みんながわかる、おたがいさまの心で満ちあふれる大戸地区社協にしたい。また地域包括ケアシステムの取組にも邁進したい。



# 高津第一地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

溝口・久地・宇奈根

## ●地域の特徴

東急とJRの二つの路線が乗り入れる駅があり、周辺は商業施設が多く昼夜賑わう。

久地・宇奈根は準工業地域で製造業の工場が多い。溝口はマンションが増え人口が5年前より1,000人以上増加している。高齢化率は区内他地区と比べて低い。



人 口	31,150 人
世 帯 数	16,513 世帯
高齢者人口	4,573 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	14.68%
年少者人口	3,861 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.39%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

大山街道ふるさと館・くじいこいの家・福祉パルたかつ・溝口南公園

## ●構 成

町会・自治会・保護司・学校関係（小中学校長）・民生委員児童委員主任児童委員・くじいこいの家運営委員

## ●役員構成

会長・副会長（3）・理事（11）・会計（1）・会計監査（2）

## ●総予算額

3,251,820 円（令和 4 年度）

## ●会 議

総会（年 1 回）・臨時総会（必要に応じて）・監査会（年 1 回）  
三役会（必要に応じて）・理事会（原則毎月 1 回）※令和 4 年度は年 7 回  
広報紙編集委員会議（年 6 回程度）

## 主 な 事 業

### ◆高齢者福祉

ひとりぐらし老人会食会  
「福寿草の会」の開催（年7回）  
春と秋の歩こう会の開催（年2回）  
敬老慰問品の贈呈  
高津区敬老会への協力

### ◆地域福祉

たかつ区健康福祉まつりへの協力  
普通救命講習会の開催  
たかつの縁側実行委員会への支援

### ◆青少年福祉

夏休み子どもつどい（移動動物園）  
（年1回）

### ◆その他

広報誌かけはし発行（年2回）  
自主研修会の開催  
各団体への助成  
社会を明るくする運動への協力  
高津区敬老会への協力



## ひとりぐらし老人会食会「福寿草の会」

65歳以上の一人暮らしの方をお招きして会食会を開催していましたが、コロナ禍のため中止せざるを得ない状況になったことにより、お菓子と脳活ドリル（数独パズル、四字熟語等の冊子）をセットにして、お届けしています。

コロナで外出の機会が減る中、訪問先の玄関で「お変わりありませんか」など、短時間の会話ですが、見守りを兼ねた訪問を行っています。次回はどのような「お菓子や脳活ドリル」が届けられるか心待ちにしていいらっしゃる方がいますので、コロナが収束するまでの間、期待に応えられるよう行っていききたいと思います。



## 高津第一地区社協からのメッセージ

高齢化がますます進展する中、私たちは、区役所・高津区社会福祉協議会・町内会・自治会等と連携・協働を図りながら地域の課題を模索し、地域でお互いに支えながら、高齢者から子どもまで、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりに取り組んでまいります。

# 高津第二地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

下作延・上作延・坂戸・久本・梶ヶ谷・向ヶ丘

## ●地域の特徴

地区内は学校や大手企業の工業などが多い他、地理的特徴の差がある。坂戸・久本は平地で溝の口駅へのアクセスも良い。大型マンションも多い。上作延や下作延は今も田畑が残り坂の多い地域がある。梶ヶ谷・向ヶ丘は平地が少なく区画整理された一戸建て住宅が多く商業施設が少ない。JR と東急の線路や国道・幹線道路や坂で地域が分断され同一地区社協内で行き来不便なところがある。



人 口	68,005 人
世 帯 数	34,605 世帯
高齢者人口	13,137 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	19.32%
年少者人口	8,294 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.20%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

高津・梶ヶ谷・上作延各いこいの家・福祉パルたかつ

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・学校長・ボランティア  
地域推薦委員

## ●役員構成

会長・副会長（5）・会計・監事（2）

## ●総予算額

5,231,920 円（令和 4 年度）

## ●会 議

監事会（年 1 回）・総会（年 1 回）・理事会（年 4 回）  
各部会会議

企画部（年 10 回）・厚生福祉部（年 4 回・検討委員会年 1 回）  
青少年福祉部（年 5 回）

## 主 な 事 業

### ◆企画部

地区社協県外研修会  
広報誌「ふれあい」発行（年2回）  
ふれあい歌声喫茶（年4回）

### ◆青少年福祉部

夏休み親と子のお楽しみ会  
親子いもほり体験  
県立高津養護学校への協力  
障がい者対象クリスマスお楽しみ会  
若草の家納涼祭への参加

### ◆厚生福祉部

ふれあい会食会（いこいの家3会場）  
高津いこいの家（年6回）  
上作延いこいの家（年6回）  
梶ヶ谷いこいの家（年6回）

高齢者に関する講座  
老人クラブとの交流会  
上作延ミニデイ（月1回）  
研修・見学会

### ◆その他

社会を明るくする運動への協力  
高津区敬老会への協力  
たかつ区健康福祉まつりへの協力



## ふれあい歌声喫茶



令和4年12月8日「てくのかわさき」のホールに80人超の人が集まり、マスクをしながらも元気な声で21曲を熱唱しました。この「ふれあい歌声喫茶」は平成24年に始まり今回で21回目を迎えました。以前は年2回の開催でしたが、令和4年から年4回開催を目指しています。曲目は童謡、唱歌、新旧の歌謡曲などバラエティに富んでおり、年配の方にも楽しんでいただけます。参加費は500円です。町内会の掲示板などでご案内していますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。



## 高津第二地区社協からのメッセージ

高津第二地区社協では「歌声喫茶」や「障がい者のクリスマスお楽しみ会」などのイベントで、ボランティアとして運営にご協力いただける方を募っています。

ボランティアに参加することで新たな人たちとの出会いが生まれたり、やりがいを感じたりするなど自分の人生がより豊かになります。詳しい内容を聞きたいと思われた方は高津区社協にお電話ください。

# 高津第三地区社会福祉協議会

設立 昭和 36 年

## ●対象地域

二子・瀬田・諏訪・北見方・下野毛

## ●地域の特徴

東急・第三京浜・二ヶ領用水・府中街道・多摩川に囲まれた住宅地である。ほぼ平坦で畑や歴史のある神社等が残る。東急の高津・二子新地の 2 駅が地域にあり商店街も充実している。地域内には中小製造業中心とした準工業地域もある。



人 口	35,841 人
世 帯 数	19,508 世帯
高齢者人口	5,639 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	15.73%
年少者人口	4,466 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	12.46%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

二子・東高津いこいの家・福祉パルたかつ・ちどり・てくのかわさき

## ●構 成

町内会・自治会長・民生委員児童委員・主任児童委員・保護司・学校長  
PTA 会長・老人クラブ・町会選出者・学識経験者

## ●役員構成

会長・副会長 (5)・部会役員 (27)・理事 (80 以内)・会計 (1)  
会計補佐 (1)・監事 (2)

## ●総予算額

4,249,792 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

常任理事会 (年 1 回)・会計監査 (年 1 回)・総会 (年 1 回)・三役会 (年 3 回)  
理事会 (年 1 回)・役員会 (年 1 回)

部会

児童福祉部会 (役員会年 2 回・部会年 4 回)

あけぼの会 (役員会年 6 回)

障がい児者福祉部 (役員会年 1 回・部会年 4 回)

いずみ会 (班長会年 4 回)

老人福祉部会 (年 1 回)・おもいやり編集委員会 (年 5 回)

福祉推進部 (年 2 回)・庶務委員会 (年 4 回)

## 主 な 事 業

### ◆児童福祉部

星空観察会  
部員研修

### ◆福祉推進部

住民に対する福祉啓発事業  
DVD 利用普及啓発で使用

### ◆障がい児者福祉部

障がい児者対象 1 日レクリエーション  
クリスマス会  
ご家族との交流会  
部員研修

### ◆老人福祉部

シニア学習会  
歩こう会（春秋年 2 回）  
敬老お祝い贈呈  
部員研修会

### ◆いずみ会（会食部）

ふひとりぐらし老人会食会（年 6 回）

### ◆あけぼの会（ミニデイ）

ミニデイサービス（年 12 回）  
（送迎をしております）

### ◆おもいやり編集委員会

機関紙おもいやり発行（年 1 回）

### ◆庶務委員会

総会・理事会・常任理事会等の資料作成

### ◆育成援護事業並びに協力事業

各町会ミニデイケア（7 か所）  
（テントラ体操と歌・人生 100 年会など）

### ◆その他

社会を明るくする運動への協力  
高津区敬老会への協力  
たかつ区健康福祉まつりへの協力



## あけぼの会（ミニデイ）

あけぼの会は対象者の血圧測定からはじまります。委員長の挨拶はユーモアたっぷりのお話で皆さんとても楽しみにしており人気があります。健康体操は「童謡の歌」「歌謡曲」「テントラ体操」など曲に合せ、身体をほぐします。レクリエーションは担当スタッフの企画でバルーンアート壁掛け工作、ビンゴゲーム、トランプババ抜き（失礼）乙女抜き等々楽しめます。

いつも笑顔と気遣いを忘れないようにしております。「今日も楽しかった、皆さんに会えて良かった」と感謝の言葉が聞こえてまいります！



## 高津第三地区社協からのメッセージ

私たち高津第三地区社協の各部会の福祉事業は一人ひとりの優しい人柄の部員（理事）の方々が献身的に尽くし取り組んでおります。参加者からも感謝されております。

子育て支援・障がい児（者）・高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、日頃から部員同士、研鑽を積みながら地域住民の尊厳を大切にされた地域福祉活動を目指しております。

# 橘地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

末長・新作・千年・千年新町・北野川・子母口・子母口富士見台・久末・蟹ヶ谷・明津東野川

## ●地域の特徴

高津区内全体の中で生産年齢層率は低く高齢化率が高い。地域北部はマンション建設が進み人口が増えている。平地の地域と台地・谷戸の地域など起伏の差がある地域である。

市営、県営住宅が多い久末や東野川の高齢化率が 30%前後と高くなっている。



人 口	95,480 人
世 帯 数	45,927 世帯
高齢者人口	20,249 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	21.21%
年少者人口	12,269 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.85%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

高津区役所橘出張所・J A セレサ橘支店・福祉パルたかつ  
千年新町集会所・高津老人福祉・地域交流センター・末長いこいの家  
子母口いこいの家・プラザ橘

## ●構 成

民生委員児童委員・保護司・地区内住民組織、団体（町会・町内会  
自治会・青少年指導員会・子ども会・老人クラブ・PTA 等）  
公私社会福祉施設・行政機関・学識経験者・地域賛同者

## ●役員構成

会長・副会長（3）・会計・部会長（4）・理事（13）・参与・会計  
監査（2）

## ●総予算額

6,186,003 円（令和 4 年度）

## ●会 議

常任理事会（年 6 回）・理事会（年 2 回）・総会（年 1 回）・会計監査  
（年 1 回）  
企画調整部会（年 4 回）・厚生福祉部会（年 3 回）・女性部会（年 3 回）  
青少年部会（年 4 回）・機関紙編集委員会（年 3 回）

## 主 な 事 業

### ◆企画調整部会

機関紙「橘の社会福祉」発行（年1回）  
橘地区社協研修会の企画・実施

### ◆厚生福祉部会

地域ふくし講座（年3回）  
車いす貸出事業  
車いす点検講習会  
橘ふるさと祭り 社協ふれあいコーナー  
橘親子運動会への協力

### ◆いこいの家ミニデイケア

末長いこいの家ミニデイケア（月1回）

### ◆青少年部会

中学生と福祉を語る会  
橘の散歩道ウォークラリー  
愛のパトロール（年2回）

### ◆女性部会

親子のつどい  
子育てグループ応援助成金  
子育て関連グループ情報交換会  
ふれあい会食会（3か所 年6回）

### ◆その他

社会を明るくする運動への協力  
高津区敬老会への協力  
たかつ区健康福祉まつりへの協力



## ふれあい会食会

昭和58年に立ち上がり、令和5年に40周年を迎えます。現在、橘地区では、民生委員児童委員担当区域（第一地区：新作・末長、第二地区：千年・北野川・千年新町・子母口、第三地区：久末・蟹ヶ谷・明津・東野川）に分かれて、それぞれ年6回開催しています。

65歳以上の一人暮らし、日中独居になる方々に、会食会を通して外出の機会を作り、孤立感の解消を目的としています。地域包括支援センターの協力による血圧測定や健康相談、地域のボランティアさんによる演芸披露などのプログラムもあります。



## 橘地区社協からのメッセージ

本会では「明るく豊かな住みよいまちづくり」を合言葉に、「ふれあい会食会」「車いす貸出事業」「親子のつどい」「中学生と福祉を語る会」など地域に寄り添い、地域に根差した取り組みの輪を広げられるよう活動に取り組んでまいります。皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。また、地区社協活動に関心のある方は、ご連絡ください。橘の福祉を一緒に盛り上げましょう。



# 宮前第一地区社会福祉協議会

設立 昭和 57 年

## ●対象地域

梶ヶ谷金山・東野川・南野川・野川台・野川本町・西野川

## ●地域の特徴

台地と川の低地からなり戸建・集合住宅の割合が宮前区全体では 3 : 7 だがここは 5 : 5 で戸建が建つ。坂が多く野川団地やマンション等集合住宅が多い。自然も残る。人口の増加に地域インフラの整備が遅れ、スーパー等が少なく高齢者は買い物の負担が大きいのが課題。徒歩圏内に駅がなくバスや車で武蔵小杉、溝の口、鷺沼、港北ニュータウンへ出る必要がある。



人 口	31,620 人
世 帯 数	14,328 世帯
高齢者人口	7,614 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	24.08%
年少者人口	4,030 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	12.75%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

野川いこいの家・町会自治会の集会所・野川小学校・宮山ホール

## ●構 成

町内会会長・自治会会長・民生委員児童委員・保護司・ボランティア団体  
小中学校校長・PTA 会長・青少年指導員・子ども会会長・日赤奉仕団  
高齢者・障がい者・児童福祉施設の代表・地域の有志（協力者）など

## ●役員構成

会長（1）・副会長（3）・会計（2）・常任理事事務局（2）  
常任理事部会長（5）・監事（2）・顧問（2）

## ●総予算額

2,377,737 円（令和 4 年度）

## ●会 議

総会（年 1 回）・役員会（年 2 回）・三役会（年 2 回）・理事会（年 5 回程度）  
部会  
高齢者福祉部会（年 6 回）・障害児者福祉部会（年 4 回）  
児童青少年福祉部会（三役会年 2 回・部会年 3 回）  
広報啓発部会（年 10 回）・ボランティア育成部会（年 5 回）

## 主 な 事 業

### ◆地域福祉事業

ボランティア交流会  
にこにこ会 ちょこっとバスの旅

### ◆高齢者福祉部会

かがやき会（高齢者会食会）  
地区内4会場 各年6回程度開催  
自主研修（開催内容の検討・企画）

### ◆ボランティア育成部会

「ちょこっとベンチ」のメンテナンス  
見回り等ボランティア募集  
地域ボランティア団体への助成

### ◆児童・青少年福祉部会

虹色おはなしの会（親子で楽しむ語りの会）

### ◆障害児者福祉部会

虹色の音楽会（障がい者と地域住民の交流）  
自主研修（障害者施設を訪問見学）

### ◆広報啓発部

広報紙「にじ」発行（年1回）  
福祉まつりのお知らせチラシ作成

### ◆地域交流事業

「福祉まつり」（3月）を地域住民のふれあいの場として実施



## 福祉まつり



宮前第一地区社協では、野川地域において、伝統と誇りのある「福祉まつり」を開催しています。文化の継承と地元住民の方々をはじめとした多くの団体の方との交流を目的として、幅広い世代にご参加いただき、地域への愛着を深めていただく場となるよう取り組んでいます。

開催を通して培った関係性によって、平時だけでなく災害時においても、ともに支え合うことができる地域づくりを目指し、野川地域とともに歩み続ける地区社協としての自負を持ちながら、日々活動しています。



## 宮前第一地区社協からのメッセージ

野川地域における福祉活動の基盤となるのは地域の実情を知ることです。地域の置かれている現状を実際に見て、地域の声を聞き、把握したニーズに対して真摯に向き合う必要があります。そして、解決のためには、民生委員児童委員や地域包括支援センターをはじめとした、多くの専門機関や関係機関と連携を図り、協力しながら、既存の事業を見直すことで、より充実した事業の実施を行えるように、努めていきます。

# 宮前第二地区社会福祉協議会

設立 平成 19 年

## ●対象地域

土橋・けやき平・神木

## ●地域の特徴

宮前区の中央部になる。田園都市線屈指のベッドタウンである。幹線道路や東名高速の IC などがあり交通量が多く、道路沿いに物流の拠点やドライバーのニーズに合う店が多い。地域の住宅の 8 割がアパート・マンションである。多摩丘陵の台地で矢上川が流れその谷合が土橋。斜面が神木である。



人 口	22,801 人
世 帯 数	10,034 世帯
高齢者人口	4,650 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	20.39%
年少者人口	3,163 人 ※ 15 歳未満
年 少 人 口 率	13.87%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

区役所・福祉パルみやまえ・地域包括支援センター・土橋会館  
新神木自治会館・神木公園・向ヶ丘公園・土橋 2, 3, 7 丁目公園  
宮崎台第 4 公園・マンション集会室

## ●構 成

民生委員・主任児童委員・元民生委員・町内会・自治会・保護司  
マンション管理組合・ボランティア

## ●役員構成

会長・副会長 (4)・常任理事 (10)・顧問 (2)・監事 (2)・会計 (2)  
事務局 (3)

## ●総予算額

2,536,864 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

三役会 (年 2 回)・監査会 (年 1 回)・常任理事会 (年 1 回)  
理事総会 (年 1 回)  
児童福祉委員会 (年 4 回)・障害児者福祉委員会 (年 3 回)  
高齢者福祉委員会 (年 13 回)・広報委員会 (年 11 回)  
共同募金運動説明会 (年 1 回)

## 主 な 事 業

### ◆児童福祉委員会

夏休み、思い出作り、もの作り  
地域探検ウォーキング  
地域児童の健全育成に関わる団体・  
機関との交流

### ◆広報活動委員会

広報紙「あけぼの」発行（年1回）

### ◆高齢者福祉委員会

ひとり暮らし高齢者会食会（月1回）  
各種イベントにおける高齢者疑似体験

### ◆障害児者福祉委員会活動

車いす体験・高齢者疑似体験等の指導  
（土橋小学校・平小学校）

### ◆すこやか活動推進委員会

虹町内会・自治会ごとの公園体操の推進  
（神木すこやか体操など）

土橋カフェ（月1回）

けやきの会茶話会（月1回）

### ◆子育て支援

子育てサロンの実施

すくすく土橋（月1回）

すくすくけやき平（月1回）

すこやか神木（月1回）



## 土橋カフェ



写真は土橋カフェで中国楽器二胡のプロ  
王さんが演奏している様子です。

認知症対策が全国で大きな課題となっている中、逸早く地域包括ケア会議を結成。その決議に基づき、平成25年9月に開始した土橋カフェの独自の活動の様子はNHK国際放送や全国紙でも取り上げられ、有効な解決策として多くの関係者の注目の的となりました。

地域の誰もが分け隔てなく参加でき、カフェの一員として包み込む会場の雰囲気。各種専門職と一体となり、ワンストップで本人や家族の悩み、相談解決し続けていきます。



## 宮前第二地区社協からのメッセージ

私たち、第二地区社協は、子どもからお年寄りまでお互いに支え合いながら、誰もが住みやすい地域を目指して様々な福祉活動を行っています。広報誌「あけぼの」で活動を紹介しております。興味のある方は一緒に活動してみませんか。

# 有馬鷺沼地区社会福祉協議会

設立 平成 19 年

## ●対象地域

有馬・鷺沼

## ●地域の特徴

有馬鷺沼地区は宮前区の南部になる。横浜市の美しが丘やたまプラーザが近く、坂の多い住宅街である。東名高速や国道 246 号が通り、東急田園都市線の急行が停車する鷺沼駅があるほか、3 事業者による鷺沼駅・小杉駅への複数のバス路線が通り各方面へ交通の便が良い。駅前には商店街が立ち並ぶ。ファミリー層が多く住む。



人 口	35,290 人
世 帯 数	16,492 世帯
高齢者人口	6,236 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	17.67%
年少者人口	4,901 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	13.89%

(令和 4 年 3 月現在)

●主な拠点 有馬いこいの家・福祉パルみやまえ  
活動場所

●構 成 町内会自治会・民生委員児童委員・保護司・小中学校校長・PTA 会長  
スポーツ推進委員・敬和会会長・ヘルスマイト宮前・青少年指導員

●役員構成 会長・副会長 (3)・会計 (2)・監事 (2)・常任理事 (11)・事務局 (2)

●総予算額 2,513,108 円 (令和 4 年度)

●会 議 会計監査 (年 1 回)・常任理事会 (年 1 回程度)・総会 (年 1 回)  
共同募金・賛助会員募集についての説明会・受け渡し (各年 1 回)  
部会 (随時)

在宅福祉委員会・広報活動委員会・障害児者福祉委員会  
児童福祉委員会

## 主 な 事 業

- ◆在宅福祉委員会  
ひとり暮らし高齢者会食会  
「梨の花」(年6回)  
在宅福祉委員会研修会
- ◆児童福祉委員会  
保育園児との交流会  
うえるかむクラス  
施設見学会
- ◆広報委員会  
広報誌「梨の花」発行(年1回)
- ◆障害児者福祉委員会  
各小学校における  
障害児者福祉体験・疑似体験  
当事者との交流
- ◆その他  
みやまえ福祉フェスティバル参加・協力  
共同募金・年末たすけあい運動  
賛助会員増強に協力



### ひとり暮らし高齢者の「梨の花」会食会



当会では、ひとり暮らし高齢者「梨の花」会食会を、偶数月第4木曜日、有馬いこいの家で開催しています。古くから栽培されている梨。春にはその美しい白い花が見られたことが「梨の花」の由来です。

新型コロナウイルス感染症の影響から、現在は会食形式ではなく、持帰り用の軽食を提供しています。参加者の方に楽しんで頂けるよう、作品制作、音楽、人形劇の鑑賞や、軽体操を実施しています。一日も早く以前のようなにぎやかな笑い声が戻って来ることをスタッフ一同待ち望んでいます。



### 有馬鷺沼地区社協からのメッセージ

私たちは鷺沼駅前での街頭募金や、賛助会費などを通じ、地域の皆様にご協力をいただいております。よりより地域づくりのため、様々な事業に有効に活用しております。

地域の皆さまからの「ありがとう」や「お疲れさま」といったお声かけに、会員一同、元気をもらっております。改めまして、皆さまへの感謝をこめて、この場をお借りしてお礼申し上げます。「いつもご協力有難うございます。」

# 東有馬地区社会福祉協議会

設立 平成 19 年

## ●対象地域

東有馬

## ●地域の特徴

宮前区の南部に位置し横浜市に隣接する。有馬川沿いの平地と傾斜地からなっており、農地もある。鷺沼駅からのバス路線が地区内を横断し、鷺沼駅や小杉駅などへバス路線が通っている。宮前区内で一番高齢化率が高い地区であり、有馬第一団地・有馬第二団地等の市営住宅・県営有馬団地の高齢化率は 35% 近くになる。



人 口	12,963 人
世 帯 数	6,135 世帯
高齢者人口	3,411 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	26.31%
年少者人口	1,650 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.73%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

有馬いこいの家・れいんぼう川崎会議室  
アリーノ (有馬・野川生涯学習支援施設)

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・障害福祉施設・保育園  
学校関係

## ●役員構成

会長・副会長 (6)・会計 (2)・監事 (2)

## ●総予算額

1,929,403 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・理事会 (年 3 回)・常任理事会 (年 3 回)  
委員会

在宅福祉委員会・障害福祉委員会・児童福祉委員会・広報活動委員会  
ミニデイ東有馬委員会・子育てサロン委員会

## 主 な 事 業

### ◆在宅福祉委員会

会食会 ももの花（年6回）  
9月敬老祝賀  
1月新年の祝い品配布  
誕生祝い品と色紙プレゼント

### ◆広報活動委員会

広報誌「たんぽぽ」発行（年1回）

### ◆児童福祉委員会

保育園児、幼稚園児たちと交流（園庭での遊び、焼き芋会等を行い、子どもや地域と交流）

### ◆ミニデイ東有馬委員会

アリーノを利用してミニデイサービスを実施（年6回）調理会食及び食事会  
地域包括支援センターの協力を得て健康講和、頭の体操等を実施

### ◆障害児者福祉委員会

れいんぼう川崎の協力を得て有馬小学校における障害児福祉体験  
（車イス・ボッチャ・アイマスク等）や当事者との交流

### ◆どんぐりサロン委員会

未就学児を子育て中のお母さんが安心して子育てできるよう、保健師、保育士、助産師、の協力を得て情報交換の場を提供（月1回）



## どんぐりサロン活動



有馬白百合幼稚園のどんぐりハウスを会場にお借りして毎月1回、東有馬地区社協、民生委員、うさぎボランティアの協力を得て活動しています。

新生児から未就学児を対象に広いお部屋で保護者の方々と自由にコミュニケーションをとり、子どもたちが、のびのび遊べる見守りをしています。

不定期ですが、保健師さん、助産師さん、保育士さんも参加し、アドバイス等の場として利用いただけます。



## 東有馬地区社協からのメッセージ

近年、急速な少子高齢化や核家族、単身世帯の増加、地域のつながりの希薄化などにより、日常生活に様々な困難を抱える世帯が増加してきており、地域課題、福祉ニーズも多様化の一途をたどっています。「住民による住民のための福祉街づくり」を目指して、町内会や自治会、民生委員、児童委員、保護司など地域の相談役の方々と協力して、地域の福祉活動に取り組んでいます。皆様のご協力をお願いします。



# 宮前第三地区社会福祉協議会

設立 平成 22 年

## ●対象地域

馬絹・小台・宮崎（大塚地区のみ）

※人口数などのデータは、「宮崎」の全域（宮崎 1～6 丁目を除く）が含まれています。

## ●地域の特徴

馬絹は区の東部で多摩丘陵と下末吉台地にまたがり矢上川と尻手黒川道路が並行して東西に通る。大山通りや厚木街道も通る。坂の多い住宅街である。東急田園都市線の宮崎台・宮前平・鷺沼駅が最寄駅。金融機関も多い。75%が集合住宅で、一人暮らしが 4 割を占める。区内で最も高齢化率が低い。



人 口	29,738 人
世 帯 数	14,679 世帯
高齢者人口	4,534 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	15.25%
年少者人口	4,227 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	14.21%

（令和 4 年 3 月現在）

## ●主な拠点 活動場所

福祉パルみやまえ・宮前地区会館・小台会館・大塚会館・泉福寺

## ●構 成

学識経験者・民生委員児童委員・老人クラブ・町会自治会・保護司  
地域ボランティア・保育園・薬局・小中学校・PTA・青少年指導員  
少年補導員・青少年の家・子ども会・スポーツ推進員福祉施設  
地域包括支援センター・児童家庭支援センター・生活支援センター

## ●役員構成

会長・副会長（5）・会計（2）・理事（7）・監事（2）・顧問（1）  
事務局（3）

## ●総予算額

2,392,300 円（令和 4 年度）

## ●会 議

総会（年 1 回）・監事会及び三役会（年 1 回）・理事会（年 4 回）  
共同募金運動説明会（年 1 回）  
賛助会費募集についての説明会（年 1 回）  
部会・委員会・事務局活動（年 1～6 回）・事務局 総会準備・合同検討会  
高齢者部会・カフェ桃花部会・企画広報委員会・児童福祉部会  
障がい者福祉部

## 主 な 事 業

### ◆高齢者福祉部会

一人暮らし高齢者会食会（年6回）

### ◆カフェ桃花部会

ふれあいカフェ交流会「桃花」（月1回）

桃花まつり

### ◆障がい者福祉部会

アピエ寄席への協力

しあわせを呼ぶコンサート

### ◆児童福祉部会

「児童と一緒に花を植えよう」運動

親子で楽しいお芋堀り

中学生対象「車いす・妊婦・高齢者疑似体験」

多世代交流の場づくり

### ◆企画広報委員会

広報誌「地区社協だより」発行（年1回）

「ご近助」づくり（街歩き探検）



## 宮崎中学校の福祉体験授業への協力



中学1年生を対象とした福祉体験授業において、車いすユーザーさんや介護福祉士の皆さん、助産師さん、地域の赤ちゃん連れのお母さんたちと協働して車いす体験、高齢者疑似体験、妊婦体験のお手伝いをしています。

企画段階から先生たちとの打ち合わせを積み重ね、地域の「みんなの幸せ」について学生たちとともに考えました。



## 宮前第三地区社協からのメッセージ

馬絹・小台・宮崎（大塚町会の地域）を担当区域とする地区社会福祉協議会です。高齢者福祉部会やふれあいカフェ桃花部会などの5つの部会の活動を軸として、様々な地域福祉活動に取り組んでいます。

「誰もがこの地域に生まれて良かった、住んで良かった」と思えるように、笑顔あふれる豊かな地域づくりのための取り組みを行っていきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 宮前中央地区社会福祉協議会

設立 平成 22 年

## ●対象地域

宮前平・宮崎 1 丁目～6 丁目・宮崎（大塚地区を除く）

※人口数などのデータは、「宮崎」は含みません。

## ●地域の特徴

地区社協内に東急田園都市線の宮崎台と宮前平の両方の駅がある。区役所や福祉パルもこの地域にある。商店街も充実し公園も多い。宮前平駅から溝口駅・生田駅・武蔵新城駅等各方面へのバスが運行されている。地域の人口はこの5年で区内で一番増加している。高齢化率も区内地区社協で二番目に低く、年少者とほぼ比率は変わらない。



人 口	32,006 人
世 帯 数	14,856 世帯
高齢者人口	5,027 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	15.71%
年少者人口	4,795 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	14.98%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

福祉パルみやまえ・宮前老人福祉センター

## ●構 成

民生委員児童委員・主任児童委員・保護司・町内会・自治会・商店会  
学校・PTA・日赤奉仕団関係者・福祉施設・老人クラブ・ボランティア  
学識経験者

## ●役員構成

会長・副会長（3）・会計（2）・理事（4）・監事（2）・事務局（4）

## ●総予算額

1,787,456 円（令和 4 年度）

## ●会 議

理事会（年 1 回）・監査（年 1 回）・三役会（年 1 回）・総会（年 1 回）  
共同募金説明会（年 1 回）

部会

高齢者福祉部会（年 6 回）

企画・児童・障害者福祉部会（年 5 回）

編集会議（年 5 回）

## 主 な 事 業

### ◆高齢者福祉部会

ひとりぐらし老人会食会（年6回）  
高齢者の食に関する研修  
おしゃべりカフェ「はなぞの」（年6回）

### ◆企画・児童・障害者部会

会員研修会・視察研修会の企画運営  
部員研修（年2回）  
子育て支援に向けた講習会（年1回）  
親子リトミック（年2回）  
障害児者関係のイベント等の協力・参加

### ◆福祉部

高齢者等、地域住民に対する見守り  
ボランティア活動の充実

### ◆その他

広報誌「はなぞの」発行（年1回）  
みやまえ福祉フェスティバルへの出店



## 知って安心！こどもの看病と手当のしかた

### ～幼児安全法短期講習会～

中央地区社協地域にお住まいの方（在勤の方）に対し、こどもに起こりやすい事故の予防と手当、かかりやすい病気や看病の仕方などについて日本赤十字社より講師をお招きし、赤ちゃんとかどもの人形を使用した演習を交えて年1回開催している。若いご夫婦やご家族、こどもに関わるお仕事やボランティアを行っている方が多数参加している。この事業を通じてご家族同士や支援者とのつながりができるきっかけにもなっている。



### 宮前中央地区社協からのメッセージ

中央地区社協では地域住民が互いに支え合い住み慣れた街で変わらず過ごせるように新しい住民の方には、住みよく長く暮らしていただけるように、福祉の街づくりを進めています。ご興味のある方、一緒に活動してみませんか？

# 向丘地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

神木本町・五所塚・平・初山・犬蔵・菅生・菅生ヶ丘・白幡台・南平台・水沢・潮見台

## ●地域の特徴

市内有数の坂の多い地域。聖マリアンナ医大病院があり向ヶ丘遊園・生田・新百合ヶ丘・登戸・溝の口・宮前平・鷺沼・あざみ野など、多数の駅へのバス便があり住民の欠かせない足である。同じ地区社協内でバス路線が違うことで行来に時間を要することやバスの渋滞が課題。

平 2 丁目の高齢化率が 40%と突出している他、地域全般高齢化率が高い。



人 口	69,529 人
世 帯 数	31,564 世帯
高齢者人口	17,078 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	24.56%
年少者人口	9,001 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.95%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

宮前区役所向丘出張所・平・白幡台・鷺ヶ峰いこいの家

## ●構 成

町会・自治会長・民生委員児童委員・保護司  
各種団体の代表者（老人クラブ・青少年指導員・スポーツ推進委員  
防犯連絡協議会・交通安全母の会・子ども会連合会）  
ボランティア

## ●役員構成

会長・副会長（3）・会計（2）・監事（2）・理事（22）

## ●総予算額

6,485,440 円（令和 4 年度）

## ●会 議

総会（年 1 回）・三役会（年 5 回）・理事会（年 3 回）  
各部会 障がい児者福祉委員会（年 4 回）  
広報委員会（年 2 回）  
在宅福祉委員会（年 16 回）  
児童福祉委員会（年 17 回）  
向丘ふくしパーク祭り実行委員会（年 5 回）

## 主 な 事 業

### ◆障がい児者福祉委員会

研修会やレクリエーションの企画

### ◆児童福祉委員会

子育て及び次世代への支援

子育てサロンの実施

い・ぬ・く・ら (月1回)

ひよっこ向丘 (月1回)

### ◆広報委員会

広報紙「向丘」の発行 (年1回)

チラシ・パンフレット等の作成と配布

### ◆在宅福祉委員会

高齢者ふれあい会食会の開催

平 (年6回)・白幡台 (年6回)

南平台 (年6回)・鷲ヶ峰 (年6回)

### ◆その他

高齢者ミニデイ活動実施への協力

なじみあい (年12回)

夢サロン (年12回)

さかのうえ (年12回)

福祉バザーの開催

向丘ふくし・パ〜ク祭りの開催



## 向丘ふくし・パ〜ク祭り



コロナ禍により、地域が疲弊している今こそ、「地域を元気に！」との想いで企画しました。地区社協に所属している団体や福祉施設、そして向丘地区にある東高根森林公園と連携・協力し、第1回目を開催しました。

会場にはミニステージが設置され、フラダンスやオカリナの演奏が行われた他、ハンドメイドマルシェやワークショップ、福祉の相談コーナーなど多くの催しが開催され、子供から高齢の方まで幅広い世代に楽しんでいただきました。



### 向丘地区社協からのメッセージ

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業の中止や休止が続く一方、経済的困窮世帯の増加や、子育て世代の孤立感の高まりといった、新たな生活課題が発生し、地域住民をはじめ、地域全体が疲弊してきています。そこで、上記イチオシ事業でも記載した「向丘ふくし・パ〜ク祭り」を皮切りに、再び地域の活性化を目指します。

# 登戸地区社会福祉協議会

設立 昭和42年

## ●対象地域

登戸・登戸新町

## ●地域の特徴

多摩川に面している。JR南武線、小田急線が通り新宿など都心へのアクセスも良く、高齢化率が他地域より若干低い。商業活動の活性化、都市基盤整備を目的に区画整理・再開発中である。以前あった住宅などの取壊し建て替え等があり、住民層・街並みの変化が多くみられる。地区内人口はこの5年で2,000人増えた。地域活動するにあたって無料で集まれる場所が少ないことが課題である。



人 口	28,714 人
世 帯 数	17,491 世帯
高齢者人口	4,042 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	14.08%
年少者人口	2,819 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	9.82%

(令和4年3月現在)

## ●主な拠点 活動場所

福祉パルたま・登戸いこいの家・多摩区役所

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・スポーツ推進委員  
子ども会・ボランティア・老人クラブ・学校関係・青少年指導員  
当事者団体

## ●役員構成

## ●総予算額

会長・副会長（4）・会計（2）・監事（2）

## ●会 議

4,784,874 円（令和4年度）

総会（年1回）・会計監査（年1回）・常任理事会（年9回）  
共同募金登戸分会（年1回）・街頭募金会打ち合わせ会  
地区社協全体研修会・賛助会員募集依頼説明会（年1回）  
登戸福祉まつり実行委員会・社会を明るくする運動地区推進委員会  
各部会（適宜開催）  
総務企画部会・老人福祉部会・青少年福祉部会・障害福祉部会

## 主 な 事 業

### ◆総務企画部会

地区社協全体研修会の企画・実施  
広報誌「のぼりと」(年1回)

### ◆老人福祉部会

ふれあい型老人会食会(年6回)  
栄養指導講座

### ◆障がい福祉部会

障がい児・者との「お楽しみ会」(隔年)  
登戸小学校「登戸フェスティバル」で  
車いす体験の実施  
障害児・者との「クリスマス会」

### ◆青少年福祉部会

七夕まつり  
たまたま子育てまつりへの参加  
(登戸子ども会への協力)  
登戸小学校「登戸フェスティバル」への参加  
KFJ祭りへの参加(登戸子ども会への協力)  
紙飛行機大会  
節分祭への協力

### ◆その他

ミニデイケアサービス「にっこり会」への協力  
子育てサロン「ひよっこ」への協力  
登戸福祉まつりの開催  
多摩区社協実施事業参加協力



## 障がい福祉部会 クリスマス会



12月にクリスマス会を開き、障がい者と関係者との交流をはかっています。当日はみんなで歌を歌ったり、ビンゴゲーム大会やマジックショーを楽しんでいます。

サンタさんからプレゼントの配布も行っています。



## 登戸地区社協からのメッセージ

日頃から、登戸地区社会福祉協議会の諸事業につきまして温かいご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

本協議会では、地域の皆様からお預かりしました会費をもとに、登戸・登戸新町における地域福祉活動の推進に努めてまいりますのでより一層のご支援よろしくをお願いいたします。



# 菅地区社会福祉協議会

設立 平成 18 年

## ●対象地域

菅・菅野戸呂・菅稲田堤・菅城下・菅仙谷・菅北浦・菅馬場

## ●地域の特徴

北部は多摩川に面し南部は丘陵地である。利用可能な公共交通機関が京王線・小田急線・JR 南武線、小田急バス・市営バスと複数存在し、交通の便は良好である。JR・京王稲田堤駅周辺は新しい飲食店が多く、また旧来からの商店もあり活気がある。

町会の活動も活発で、各世代に向けた行事やイベントが通年行われており、他にも地域のお祭りなどを通して世代間の交流も活発である。



人 口	44,106 人
世 帯 数	22,646 世帯
高齢者人口	8,736 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	19.81%
年少者人口	4,831 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	10.95%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

菅会館・菅いこいの家

## ●構 成

町内会・民生委員児童委員・保護司・老人クラブ・学校関係  
ボランティア・母親クラブ

## ●役員構成

会長・副会長・会計・総務・常任理事・理事・監査

## ●総予算額

4,055,837 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・役員会 (年 12 回)・常任理事会 (年 12 回)  
企画部 (年 8 回)・老人福祉部 (年 5 回)・こども福祉部 (年 7 回)  
障害者福祉部 (年 4 回)・老人会食委員会 (年 6 回)  
ミニデイケア委員会 (年 12 回)

## 主 な 事 業

### ◆企画部

理事視察研修  
「菅社協だより」発行（年2回）

### ◆老人福祉部

高齢者等への手紙発送  
（暑中見舞い・年賀状等）

### ◆こども福祉部

親子で座禅体験  
親子体操  
子育てのための研修

### ◆障害者福祉部

高齢者・障害者 体験学習  
障害者福祉団体の行事への協力・交流

### ◆老人会食委員会

老人会食活動（年6回）

### ◆ミニデイケア委員会

ミニデイサービスありのみ会（年12回）  
施設見学・研修

### ◆その他

福祉標語立て看板の建て替え



## 社会福祉のつどい

菅地区の楽しい交流をめざして平成19年2月10日に第一回を開催。

コロナ禍の影響を受けて開催を中止した時期もありましたが、令和4年度で17回目の開催を迎え、小さなお子様からお年寄りまで様々な世代の方が参加し非常に熱のこもった歌や踊り等、様々な演目を披露しています。

菅の地域で暮らす人々同士が集い、顔見知りになって絆を深めることで、いざという時にお互い助け合い、支え合っていける福祉の心を育てることを目的に開催しています。



## 菅地区社協からのメッセージ

菅地区社会福祉協議会は、平成18年4月に設立以来、健康で明るい福祉のまちづくりの構築を目標に、活動を展開してまいりました。

主な活動としましては、全員で取り組む「社会福祉のつどい」、社明運動への協力、賛助会員増強運動、共同募金への協力に加え、高齢者、障がい者、児童など菅の地域に暮らす様々な方への福祉活動として、4部2委員会による個別の活動にも取り組んでおります。

今後とも地域にお住まいの皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

# 中野島地区社会福祉協議会

設立 平成 18 年

## ●対象地域

中野島・布田

## ●地域の特徴

中野島・布田地区は、北は多摩川、南は二ヶ領用水に囲まれた自然豊かな平坦な地域である。昔からの農地も残るが徐々に宅地化が進んでいる。多摩川梨の生産地として知られる。大型の市営住宅が2箇所あり、この地域の高齢化率は30%に及ぶがそのほかの地域は20%を切っている。



人 口	23,329 人
世 帯 数	12,103 世帯
高齢者人口	5,398 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	23.14%
年少者人口	2,421 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	10.38%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

中野島いこいの家・中野島会館・多摩川の里・小学校

## ●構 成

町会・自治会・民生委員児童委員・ボランティア・PTA

## ●役員構成

会長・副会長(3)・会計(2)・書記(2)・監事(2)

## ●総予算額

2,876,145 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会(年1回)・役員会(年8回)・常任理事会(年8回)

## 主 な 事 業

### ◆福祉部

高齢者疑似体験活動  
中野島中学校福祉活動  
心の癒しコンサート  
一人暮らし中野島高齢者に年賀状友愛訪問  
ボランティア活動団体との交流及び研修

### ◆青少年福祉部

子供教育のための施設見学  
親と子のふれあい活動、演芸など  
母親クラブの育成、及び地域の子育て支援

### ◆ミニデイケア委員会たんぽぽ

ミニデイサービスたんぽぽ（年12回）  
研修会講習会

### ◆総務部

広報誌発行（年2回）  
理事研修の計画・立案・実施

### ◆会食会委員会

老人会食会（年6回）  
研修会

### ◆その他

「社会福祉のつどい」  
老人福祉週間行事に協力  
子育てサロン「バンビ」への支援  
災害時対策の実施



## 中野島地区社会福祉のつどい



毎年12月の第1土曜日に開催。川崎西法人会と共催。区域内的の、保育園・小学校・中学校から多くの子ども達が参加。また、「いこいの家」や「中野島会館」等で活動する「コーラス」「踊り」「演舞」等の団体から、多くの高齢者の皆さんが参加しています。さらに、障がい者施設からの参加もあり、多くの見学者を交え地域の皆さんに大変喜ばれています。



## 中野島地区社協からのメッセージ

中野島地区社会福祉協議会は、「この地域、誰もが暮らしやすい中野島・布田」をテーマに活動しています。私たちは、子ども達から高齢者まで、お互いに助け合い声を掛け合った、笑顔があふれたまちづくりを目指します。

まずは、「あいさつ運動から始めましょう」として「中野島多世代つながり愛フォーラム」を結成し、「あいさつでつながる心、咲く笑顔」をキャッチフレーズに活動しています。子ども達が成長した時、懐かしく思い出す「中野島・布田」を、皆さんと一緒につくっていきましょう。

# 稲田地区社会福祉協議会

設立 平成元年

## ●対象地域

宿河原・長尾・堰

## ●地域の特徴

二ヶ領用水と多摩川が流れる。北は平地で南は森林・丘陵地で自然が残る。農地が都市計画なく宅地化された影響で未整備なエリアがある。長尾は坂が多くバス路線が少ない地域である。商店街が少なく高齢者の移動・買い物等で負担が大きいことが課題であるが藤子・F・不二雄ミュージアムやばら苑、梨農園など観光資源も多い他、多摩病院など市の中心的な医療機関がある。

高齢化率は多摩区では登戸地区の次に低く 20%を切っている。



人 口	42,793 人
世 帯 数	22,653 世帯
高齢者人口	8,274 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	19.33%
年少者人口	4,871 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	11.38%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

長尾いこいの家・宿河原会館

## ●構 成

町内会自治会・民生委員児童委員・保護司・老人クラブ・PTA・こども会  
青少年指導員・スポーツ推進委員・ボランティア・社協活動協力者

## ●役員構成

会長・副会長（4）・会計（2）・監事（2）

## ●総予算額

3,410,656 円（令和 4 年度）

## ●会 議

理事会（年 1 回）・評議員会（総会）（年 1 回）・役員会  
総務企画部会（年 9 回）

各委員会 地域福祉のつどい・共同募金など

各部会

総務部会・老人福祉部会・青少年福祉部会

心身障害福祉部会・一人暮らし老人会食会実施委員会

## 主 な 事 業

### ◆総務企画部会

広報紙発行（年1回）  
研修会修

### ◆老人福祉部会

体力測定  
健康ウォーキング  
長尾いこいの家まつり

### ◆青少年福祉部会

多摩川美化活動  
相撲大会  
親子運動会  
羽根つき大会  
文化作品展  
多摩川ウォーキング

### ◆心身障害福祉部会

障害のある子供や家族とのバスハイク  
クリスマス会  
部会研修会

### ◆一人暮らし老人会食会実施委員会

会食会（年8回）  
研修会・調理講習会

### ◆その他

「地域福祉のつどい」  
稲田地区防災対応連絡協議会  
おしゃべりサロン「いちにのさん」に協力



## 心身障害福祉部会 バスハイク



心身障害福祉部会では、宿河原、長尾、堰地区の小中学校に通っている支援級のお子さまたち、またこの地区にお住まいの小中学生で支援級のお子さまとそのご家族の皆さまと、バスハイク（7月）とクリスマス会（12月）等を実施し、ふれあいの場づくりをしています。

日帰りバスハイクでは、子ども・保護者・部員が参加し「ソレイユの丘」など近郊のスポットへ行き、水遊びをしたり観覧車に乗ったり楽しみます。



## 稲田地区社協からのメッセージ

当地区社協は8つの町会自治会で構成され、5つの部会委員会が活動しております。役員部会員はじめ、地域住民皆様と協働して幅広く活動して頂いておりますこと、誠に同慶の至りで厚く深く感謝しております。

日々の活動に精進してまいる所存ですが、住民の皆様のご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

# 生田地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

栗谷・三田・寺尾台・生田・西生田・東生田・長沢・東三田・南生田・枳形

## ●地域の特徴

緑地公園・科学館・民家園・美術館等の文化施設が多い。大学も多い。南部は住宅街である。市内有数の坂が多い地域である。最寄り駅から遠くバス便も少ない地域がある。

地域により人口構成の差があり、高齢化率が 30% を超える所もあるが逆に 10% を切り年少世代の方が高齢者より 200 人以上多い地域もある。マンションの新築の影響が大きい。転入者の町会加入・地区活動参加が課題になっている。



人 口	75,528 人
世 帯 数	39,574 世帯
高齢者人口	16,311 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	21.60%
年少者人口	8,388 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	11.11%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

生田出張所・福祉パルたま・錦ヶ丘・枳形いこいの家

## ●構 成

町内会・自治会・民生委員児童委員・保護司・小中学校校長  
PTA・青少年指導員・スポーツ推進委員・老人クラブ・子ども会  
母親クラブ・社会福祉事業施設代表・ボランティア・賛助会員

## ●役員構成

会長・副会長 (5)・会計 (2)・監査 (3)・各部長 (4)・会食会委員

## ●総予算額

5,589,214 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・理事会 (年 1 回)・役員会 (年 7 回)  
総務部 役員会 (年 4 回)・部会 (年 3 回)  
高齢者・障がい者福祉部会 役員会 (年 5 回)・部会 (年 3 回)  
青少年福祉部会 役員会 (年 1 回)・部会 (年 3 回)  
婦人幼児福祉部会 三役会 (年 6 回)・部会 (年 1 回)

## 主 な 事 業

### ◆総務部

理事研修会  
広報誌「しゃきょういくた」の発行（年1回）  
「福祉感謝の集い」  
他地区社協との交流会

### ◆高齢者・障がい者福祉部

「長寿をたのしもう！」9か所  
部会・見学研修会

### ◆婦人幼児福祉部

子育て支援「ニコニコ広場」（月1回）  
各種講習会及び研修会

### ◆青少年福祉部

中学校生活指導担当教諭との交流  
「中学生が語る会」  
「不滅のプロジェクト」  
中学生が語る会小冊子の編集及び発行

### ◆その他

生田地区お年寄りのつどいの開催  
会食会（年6回）の実施  
賛助会員募集  
後援及び育成助成事業  
社会を明るくする運動生田地区推進委員会へ協力  
共同募金運動への協力



## 青少年福祉部 「中学生が語る会」



この事業は、地域3中学校の交流と、青少年の健全育成を目的に、昭和51年に発足し、令和4年12月で48回目の開催となりました。その時々々の社会情勢を考慮し、中学生に関わる「テーマ」を決め、自分たちが「どう向き合い」「どう行動するか」など、3校の生徒がテーマに沿って話し合い、発表を行います。

令和2年度には、話し合いの結果から、医療従事者に感謝の気持ちを届けたいと、実際に病院等に中学生たちのメッセージやチョコレートなどを届ける活動に発展しました。



## 生田地区社協からのメッセージ

生田地区社協は、幼児からお年寄りまで、安心して暮らせる地域を目指して、様々な福祉活動を行っています。活動については、ポスター・広報誌などで紹介しています。活動のための資金は、地域の皆さんからの賛助会費を活用しています。ご協力に感謝申し上げます。



# 麻生東地区社会福祉協議会

設立 昭和 57 年

## ●対象地域

細山・多摩美・高石・千代ヶ丘・金程・向原・百合丘・東百合丘

## ●地域の特徴

新百合ヶ丘より先に開発された百合ヶ丘駅は古くからの商店街が残る。戸建てよりも集合住宅が多い。団地は高齢化が進んでいる。坂が多く、バス便が少ない地域では買い物の負担が大きいことが課題である。東百合丘や多摩美などの一部は高齢化率が 30% 近くになっている。



人 口	60,945 人
世 帯 数	29,195 世帯
高齢者人口	14,254 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	23.39%
年少者人口	7,659 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.57%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

千代ヶ丘・百合丘いこいの家・麻生老人福祉センター  
福祉パルあさお

## ●構 成

町会・自治会・民生委員児童委員・保護司・子ども会・青少年指導員会  
スポーツ推進委員会・青少年スポーツ活動振興会・ボランティア  
当事者団体・施設・小中高等学校 PTA・老人クラブ・母親クラブ  
地域賛同者

## ●役員構成

会長・副会長 (3)・会計 (2)・監査 (2)・部長・理事・顧問

## ●総予算額

4,375,000 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・三役会 (年 3 回)・役員会 (年 11 回)・委員会 (適宜開催)  
各部会

総合企画部会・障害者児福祉部会・青少年福祉部会・高齢者福祉部会  
女性幼児福祉部会・ふれあいサロン実施委員会

## 主 な 事 業

### ◆総合企画部

広報誌「麻生東」の発行（年1回）  
研修会、施設見学会  
「麻生東地区社協からのお知らせ」発行

### ◆青少年福祉部

薬物乱用防止講演会  
中学校区地域教育会議の支援  
研修会  
講演会または学校・地域との連携事業

### ◆女性幼児福祉部

親子でさつまいも・落花生掘り  
あさお福祉まつり参加  
イッツアリズムランド  
親子で風船で遊ぼう!!

### ◆高齢者福祉部

敬老祝品事業  
あさお福祉まつり参加  
小・中学校の福祉学習支援  
思い出映画館の開催  
研修会の実施

### ◆障害者児福祉部

バリアフリーコンサート  
部会員を対象とした研修事業

### ◆その他

高齢者配食サービス活動  
ふれあいサロンの支援  
ボランティア団体へ助成  
学校イベントへの参加



## 現役学生が講師の「スマートフォン教室」



「スマートフォンを持っていても活用できず取り残されている地域の方がいる」との声から、大学ゼミ、地域包括支援センター、柿生地区社会福祉協議会と協働し、地元の田園調布学園大学の現役学生を講師とした“スマートフォン教室”を2日間で開催しました。1日目はスマートフォンの基礎知識と学生の個別相談。2日目は学生の個別相談。

和気あいあいとした雰囲気に参加者からも大好評でした。令和4年度新たな取組で実施しましたが、今後も継続してデジタル機器の楽しさを知ってもらう機会を増やしていきます。



## 麻生東地区社協からのメッセージ

地区社協では、5部会1委員会でそれぞれの分野で活動を行っています。

また、様々なボランティア団体等の支援も積極的に行っています。地域活動に興味がある方、私たちと一緒に活動してみませんか？

# 柿生地区社会福祉協議会

設立 昭和 33 年

## ●対象地域

王禅寺・王禅寺西・王禅寺東・白山・虹ヶ丘・上麻生・下麻生・早野・岡上・万福寺  
古沢・五力田・片平・白鳥・栗平・栗木・栗木台・黒川・南黒川・はるひ野

## ●地域の特徴

新百合ヶ丘から鶴川と多摩線をまたぐ広い地域且つ、市で最大の人数の地区社協である。戸建中心の住宅街で工業地域は少ない。小田急線の東側は高齢化が35%を超えているところが多い。白山・虹ヶ丘は高齢化率が45%である。また人口減少率も高い。小田急線西側は後に開発され緑地等が残る豊かな自然の地域である。子育て世帯が増加している。地域により高齢者・年少者の比率の差が大きい。



人 口	117,629 人
世 帯 数	54,096 世帯
高齢者人口	27,922 人 ※ 65 歳以上
高 齢 化 率	23.74%
年少者人口	15,112 人 ※ 15 歳未満
年少人口率	12.85%

(令和 4 年 3 月現在)

## ●主な拠点 活動場所

福祉パルあさお・王禅寺・麻生・片平・白山・岡上いこいの家  
麻生区役所・町内会館・JA セレサ柿生支店

## ●構 成

町会・自治会・民生委員児童委員・保護司・施設・ボランティア  
当事者団体・スポーツ推進委員会・子ども会・青少年指導員  
老人クラブ・母親クラブ・賛同者・学校・PTA

## ●役員構成

会長・副会長 (2)・会計 (2)・理事 (14)・監事 (2)

## ●総予算額

5,064,313 円 (令和 4 年度)

## ●会 議

総会 (年 1 回)・三役会 (年 14 回)・役員会 (年 11 回)・5 委員会 (年 1 回)  
委員会連絡会議 (年 1 回)・福祉まつり部会 (年 1 回)

各委員会

福祉啓発委員会 (年 8 回)・地域子育て委員会 (年 5 回) / 三役会 (年 3 回)  
高齢者福祉委員会 (年 4 回)・障がい児者福祉委員会 / 役員会 (各年 4 回)  
青少年福祉委員会 (年 3 回)・講演会 (年 2 回)

## 主 な 事 業

### ◆福祉啓発委員会

広報誌「かきおの社協」(年3回)  
5委員会、あさお区民まつり、福祉まつりの  
取材活動

### ◆高齢者福祉委員会

敬老祝い品配布事業  
高齢者施設の見学会、研修会  
「健康増進・予防医学等」に関する講演会  
あさお福祉まつりでの高齢者疑似体験

### ◆障がい児者福祉委員会

ふれあい芋・落花生掘り  
福祉機関の学習会への参加及び協力  
障害者週間街頭キャンペーン活動に参加  
障がい者施設見学の実施

### ◆地域子育て委員会

講演会  
「歌遊びとパネルシアター」  
「親子ムーブメント教室」  
「ベビーマッサージ」  
「産前、産後」のヨガ  
研修会  
地域子育て支援活動  
施設見学

### ◆青少年福祉委員会

研修会・施設見学会  
学校で行う講習会(薬物など)



## ベビーマッサージとヨガ教室



生後1ヵ月から12ヵ月の赤ちゃん親子を対象とした「ベビーマッサージとヨガ教室」を開催しています。

教室では、赤ちゃんの皮膚の保護や産後のケアを学び、お母さんは全身ヨガで体調を整え、“癒し”の空間を提供しています。



## 柿生地区社協からのメッセージ

柿生地区社協では、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるように、5つの委員会を中心に地域に密着した小地域福祉活動を行っています。

広報誌を発行し、福祉啓発や地域福祉の情報、私たちの活動について、紹介しています。

# 川崎市・区社会福祉協議会 連絡先

## 川崎市社会福祉協議会

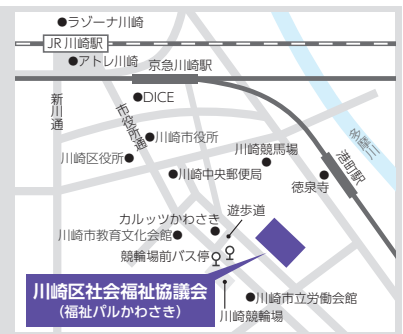
〒211-0053  
 中原区上小田中 6-22-5  
 川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）6階  
 電話：044-739-8716  
 FAX：044-739-8737



## 各区の社会福祉協議会

### 川崎区社会福祉協議会（福祉パルかわさき）

〒210-0011  
 川崎区富士見 1-6-3  
 読売川崎富士見ビル B-1 棟 6階  
 電話：044-246-5500 FAX：044-211-8741



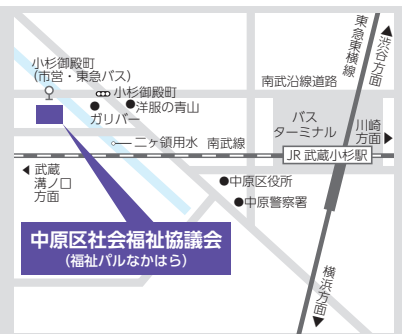
### 幸区社会福祉協議会（福祉パルさいわい）

〒212-0023  
 幸区戸手本町 1-11-5  
 さいわい健康福祉プラザ内  
 電話：044-556-5500 FAX：044-556-5577



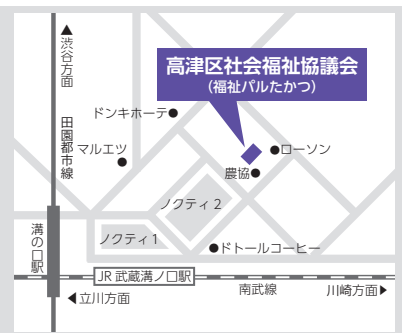
### 中原区社会福祉協議会（福祉パルなかはら）

〒211-0067  
 中原区今井上町 1-34 和田ビル 1階  
 電話：044-722-5500 FAX：044-711-1260



### 高津区社会福祉協議会（福祉パルたかつ）

〒213-0001  
 高津区溝口 1-6-10  
 てくのかわさき 3階  
 電話：044-812-5500 FAX：044-812-3549



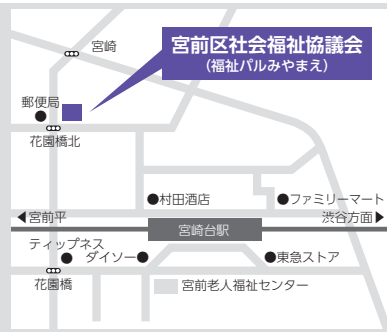
## 宮前区社会福祉協議会 (福祉パルみやまえ)

〒216-0033

宮前区宮崎 2-6-10

宮崎台ガーデンオフィス 4階

電話：044-856-5500 FAX：044-852-4955



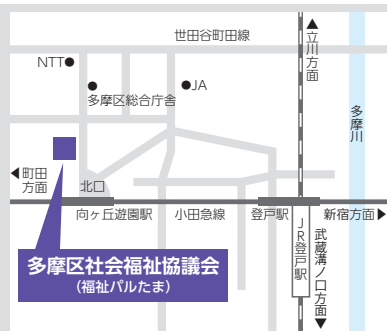
## 多摩区社会福祉協議会 (福祉パルたま)

〒214-0014

多摩区登戸 1891

第3井出ビル 3階

電話：044-935-5500 FAX：044-911-1811



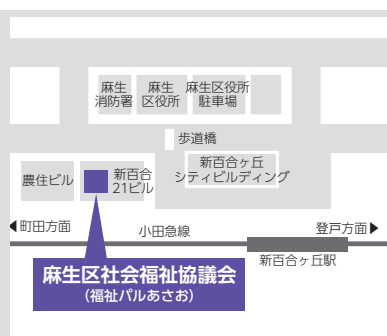
## 麻生区社会福祉協議会 (福祉パルあさお)

〒215-0004

麻生区万福寺 1-2-2

新百合21ビル 1階

電話：044-952-5500 FAX：044-952-1424



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
こちらから  
(ふくしの保険ホームページ)



### 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

### <重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



### ボランティア行所用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

### 送迎サービス補償

(傷害保険)

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉  
保険会社

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

川崎市社協 LINE 公式アカウント

友だち募集中!



友達登録はカンタン!  
IDを検索▶@565orllz



川崎市社協キャラクター

ななふくLINEスタンプ

(全24種)

買ってね!



企画デザイン・印刷：野崎印刷紙器株式会社  
表紙イラスト：株式会社スポマ/田中舞

## 川崎市内地区社会福祉協議会概要集

発行年月 令和5年10月

編集・発刊 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 地域部会



この冊子は一部共同募金の配分金で発行されています。